

## 第 II 編

### 温 排 水

## 1. 調査概要

本報告書は、「女川原子力発電所環境放射能及び温排水測定基本計画」に基づき、平成29年度第4四半期（平成30年1月1日～3月31日）に実施した温排水調査結果のうち、水温・塩分調査および水温調査（モニタリング）結果について報告するものであり、それ以外の調査結果については、平成29年度報告書としてとりまとめの上、別途報告する。

### (1) 調査機関

調査担当機関	
宮城県	宮城県水産技術総合センター
東北電力(株)	女川原子力発電所

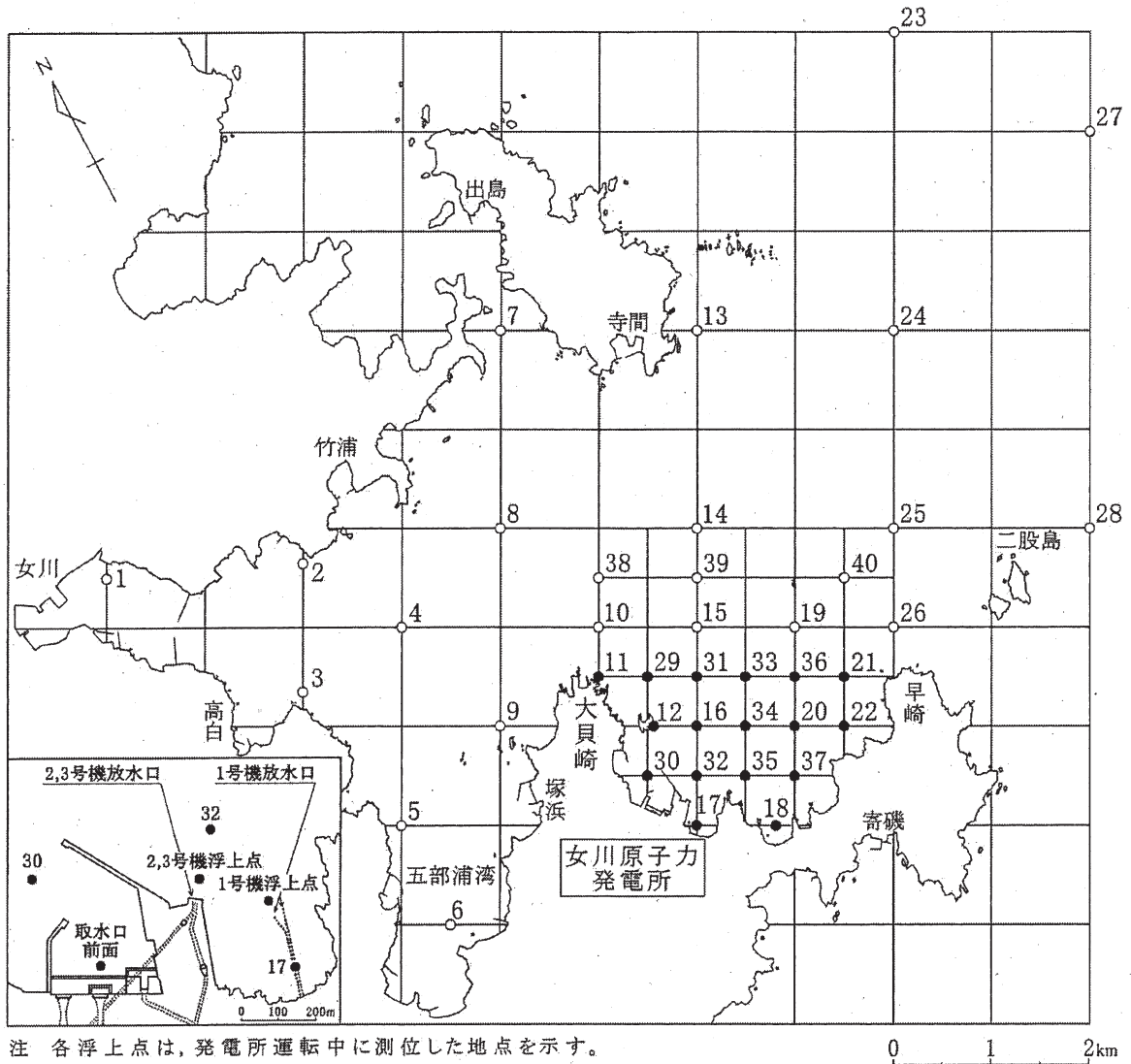
### (2) 調査項目等

調査事項	調査項目	宮城県	東北電力(株)
		地点数	地点数
水温・塩分調査	水温・塩分	43	43
水温調査（モニタリング）	水温	6	9

## 2. 調査結果の概要

### (1) 水温・塩分調査

水温・塩分調査においては、大貝崎と早崎とを結ぶ線の内側の入り江を前面海域、その他を周辺海域として記述することとする。



凡	● 前面海域の調査点
例	○ 周辺海域の調査点

図-1 水温・塩分調査位置

当該四半期の水温・塩分調査で得られた結果からは、温排水の影響と考えられる異常な値は観測されなかった。

なお、調査結果は以下に示す通りである。

## イ. 水温

### (イ) 1月12日 (表-1, 3, 図-2, 3)

前面海域の水温は9.8~10.7℃の範囲、1号機浮上点の水温は10.2~10.4℃の範囲、2,3号機浮上点の水温は10.0~10.4℃の範囲にあった。一方、周辺海域の水温は8.5~11.2℃の範囲にあり、前面海域の水温は周辺海域の水温の範囲内にあった。なお、昨年同期の前面海域の水温は9.6~10.6℃、周辺海域の水温は9.0~11.1℃の範囲にあった。水温水平分布、St.17-St.29, St.17-St.15, St.17-St.33およびSt.17-St.21ラインの水温鉛直分布では、浮上点付近に異なる水温分布は見られなかった。今回の調査では、温排水の量が僅かであり、いずれも過去同期の水温の範囲内にあった。

また、浮上点および浮上点付近水温と取水口前面との較差については、1号機浮上点において0.3~0.6℃、2,3号機浮上点において0.4~0.6℃、St.17においては0.5℃、St.32においては0.5~0.7℃であり、全て過去同期の較差の範囲内にあった。

### (ロ) 2月16日 (表-2, 3, 図-4, 5)

前面海域の水温は7.7~8.6℃の範囲、1号機浮上点の水温は7.8~7.9℃の範囲、2,3号機浮上点の水温は7.9~8.0℃の範囲にあった。一方、周辺海域の水温は7.1~9.1℃の範囲にあり、前面海域の水温は周辺海域の水温の範囲内にあった。なお、昨年同期の前面海域の水温は8.3~8.6℃、周辺海域の水温は7.4~9.0℃の範囲にあった。水温水平分布、St.17-St.29, St.17-St.15, St.17-St.33およびSt.17-St.21ラインの水温鉛直分布では、浮上点付近に異なる水温分布は見られなかった。今回の調査では、温排水の量が僅かであり、いずれも過去同期の水温の範囲内にあった。

また、浮上点および浮上点付近水温と取水口前面との較差については、1号機浮上点において0.1~0.3℃、2,3号機浮上点において0.2~0.3℃、St.17においては0.1~0.2℃、St.32においては0.2~0.3℃であり、全て過去同期の較差の範囲内にあった。

## ロ. 塩分

### (イ) 1月12日 (表-4)

塩分は33.6~34.1の範囲にあり、水平分布の較差は0.1~0.5、鉛直分布の較差は0.0~0.5の範囲にあつて、海域全体でほぼ同じ値であった。

なお、昨年同期の塩分は33.6~34.1の範囲にあった。

### (ロ) 2月16日 (表-5)

塩分は33.8~34.1の範囲にあり、水平分布の較差は0.2~0.3、鉛直分布の較差は0.0~0.1の範囲にあつて、海域全体でほぼ同じ値であった。

なお、昨年同期の塩分は33.8~34.0の範囲にあった。



調査年月日：平成30年1月12日  
 測定者：宮城県  
 観測層：海面下0.5m層

単位：℃

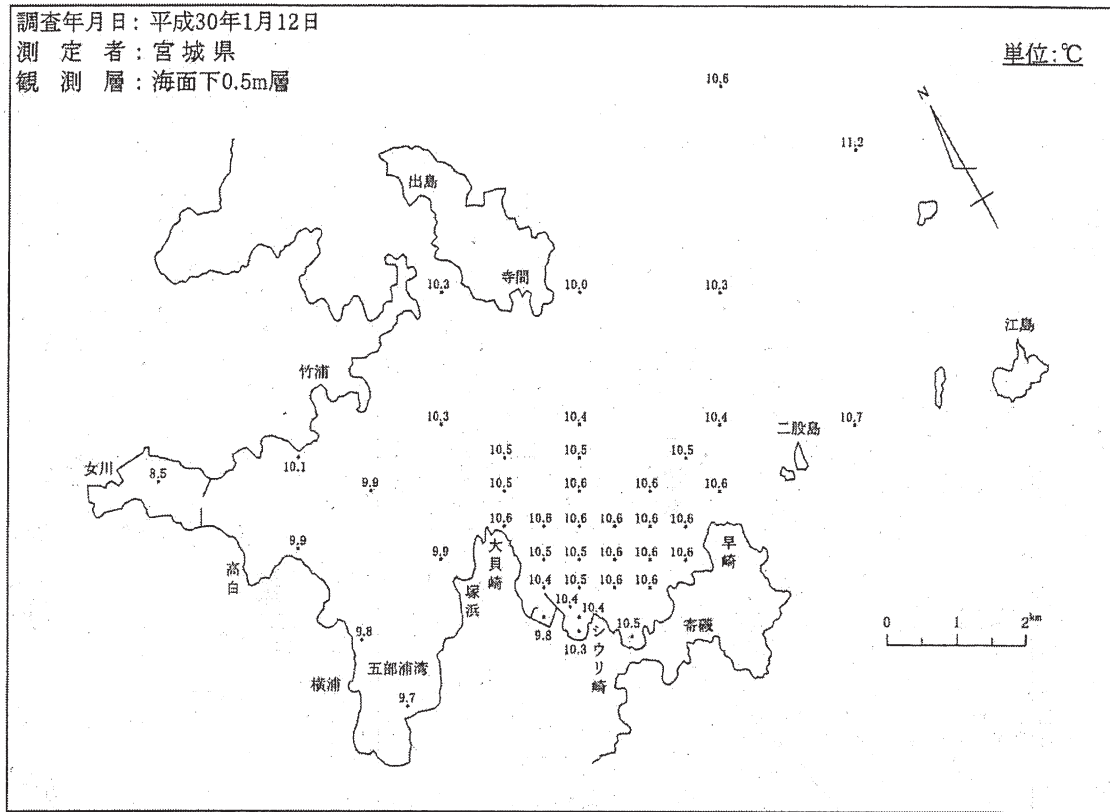
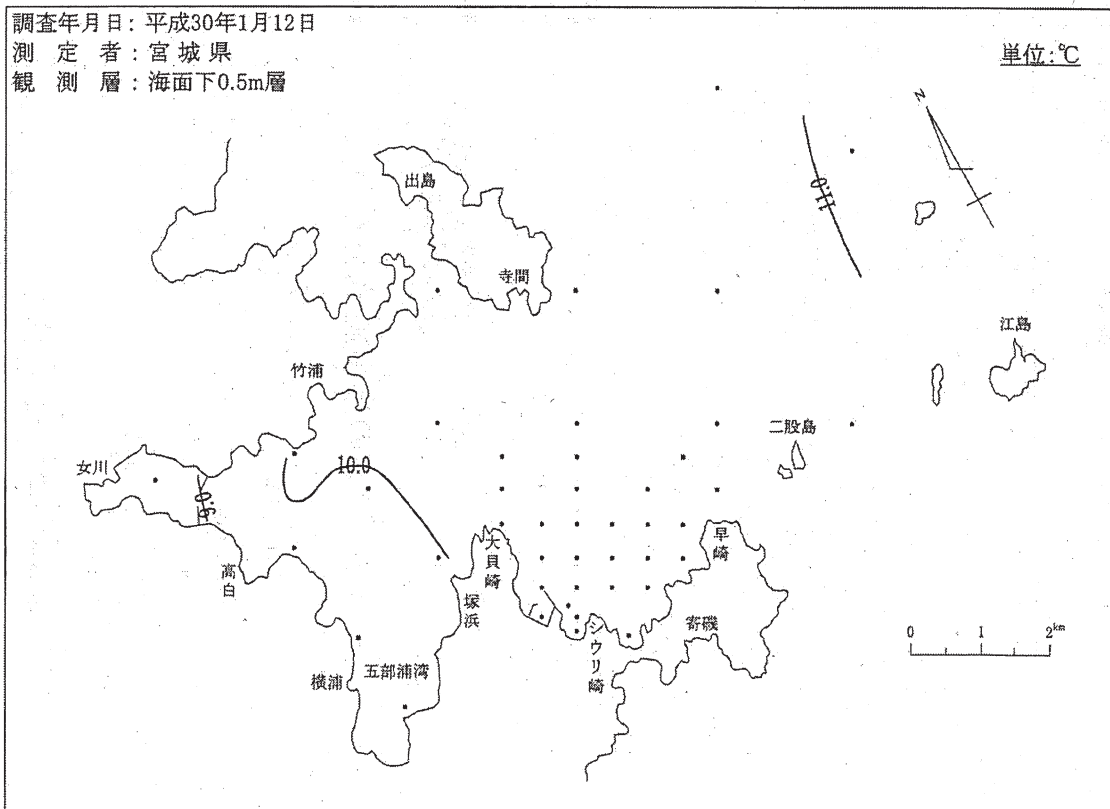


図-2-(1) 水温水平分布



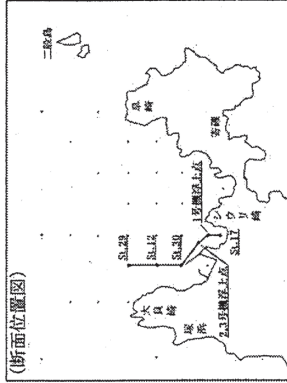
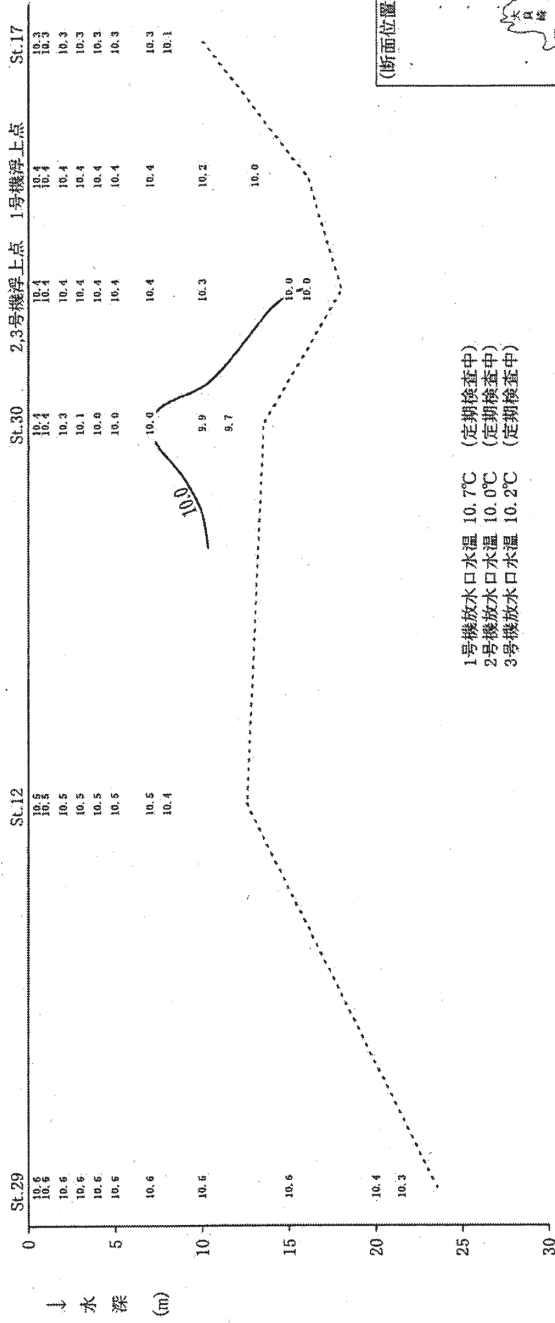
注 等温線は、水温分布の一例を示す。

図-2-(2) 等温線



調査年月日：平成30年1月12日 測定者：宮城県

単位：℃



1号機放水口水温 10.7℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 10.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 10.2℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温分布に基づき、参考までに等温線(1℃毎)を引いた。  
 2 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 3 水深は調査時の測定値である。

図-3-(1) St.17-St.29ラインの水温鉛直分布(1・2,3号機浮上点含む)

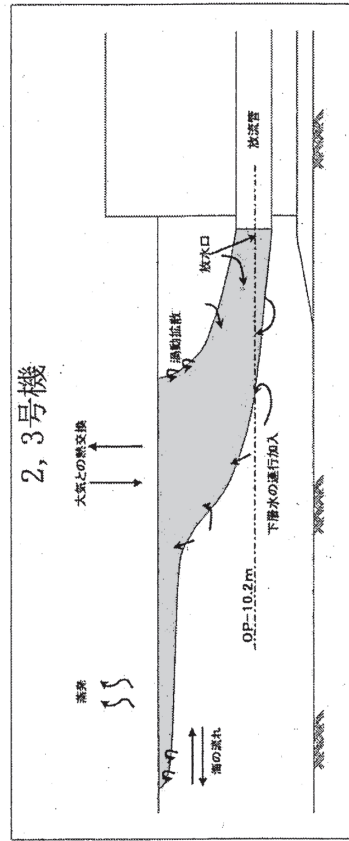
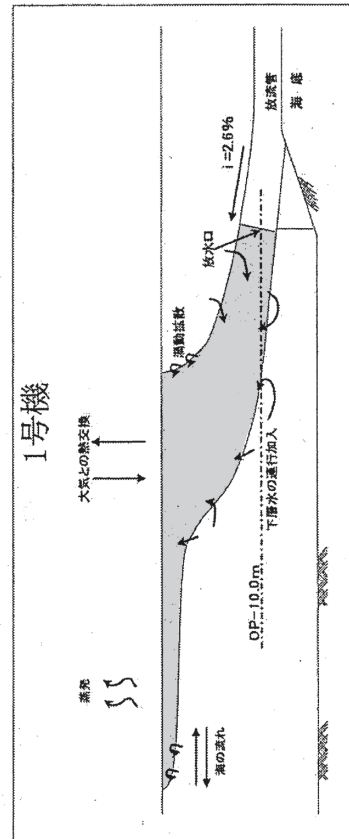
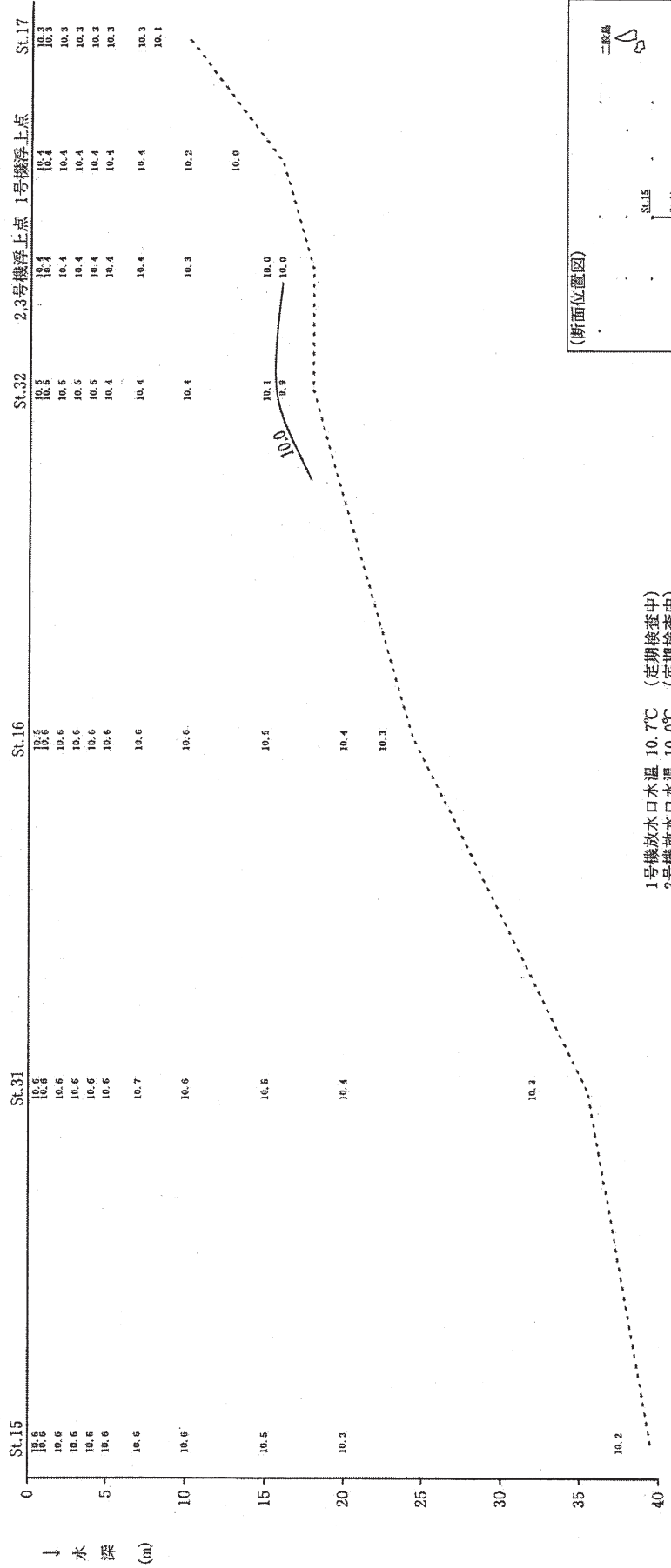


図-3-(2) 水中放流方式における温排水の拡散概念

調査年月日：平成30年1月12日 測定者：宮城 泉

単位：℃



1号機放水口水温 10.7℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 10.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 10.2℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温分布に基づき、参考までに等温線 (1℃毎) を引いた。  
 2 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 3 水深は調査時の測定値である。

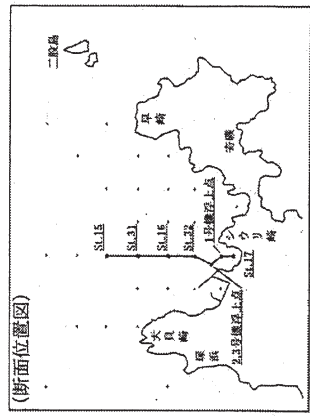
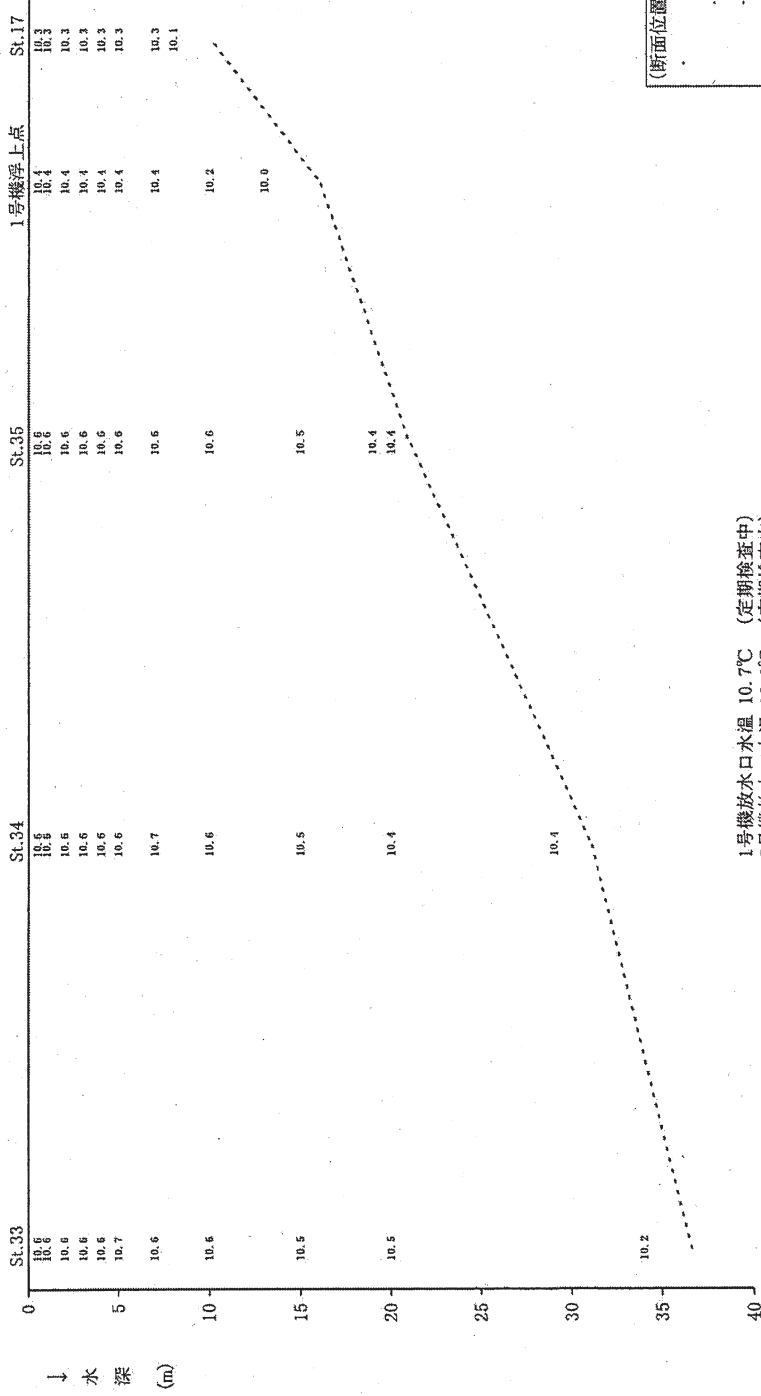


図-3- (3) St.17-St.15ラインの水温鉛直分布(1・2,3号機浮上点含む)



調査年月日：平成30年1月12日 測定者：宮城県

単位：℃



1号機放水口水温 10.7℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 10.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 10.2℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水溫差が1℃未満のため、等温線はない。  
 2 水深は調査時の測定値である。

(断面位置図)

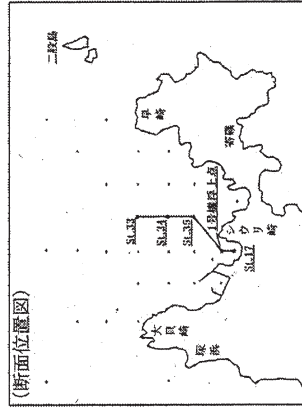
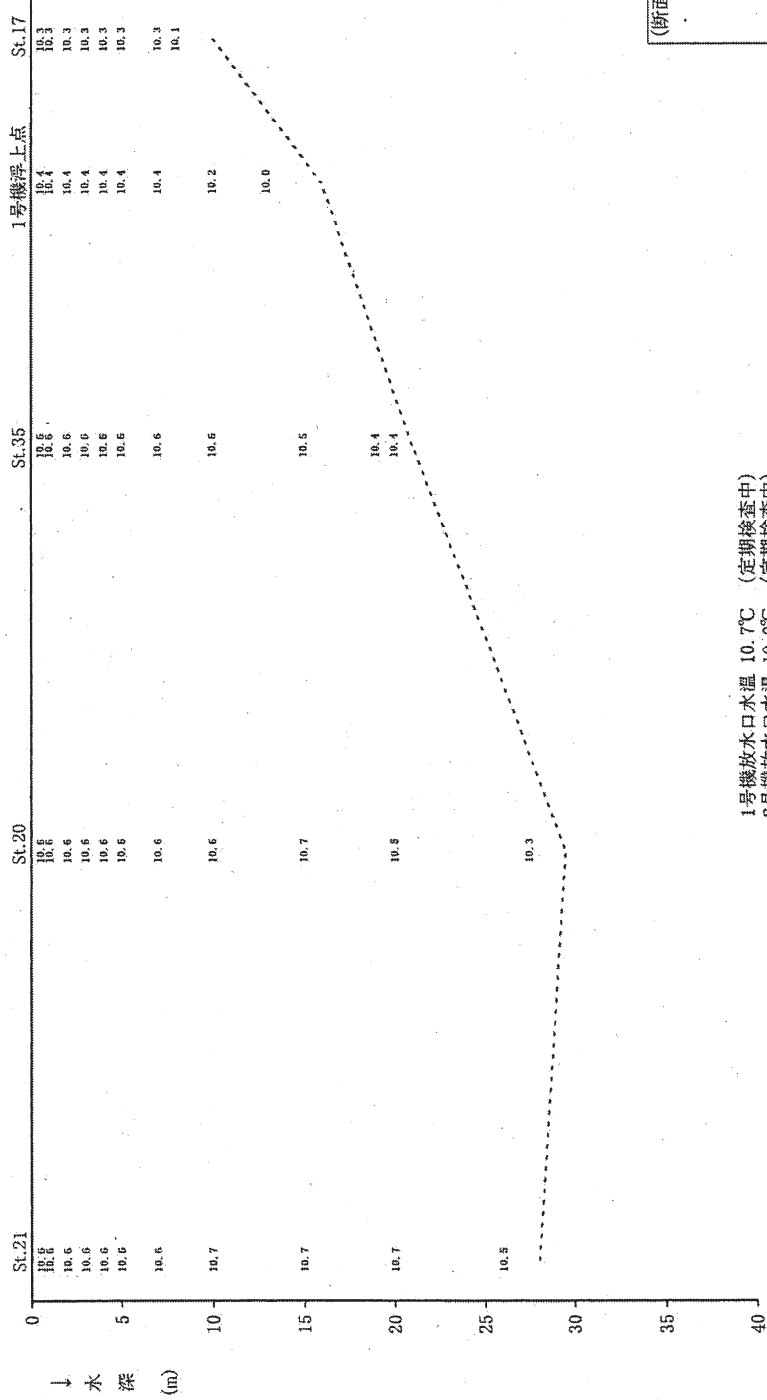


図-3-(4) St.17-St.33ラインの水溫鉛直分布(1号機浮上点含む)

調査年月日:平成30年1月12日 測定者:宮城県

単位:℃



1号機放水口水温 10.7℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 10.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 10.2℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温差が1℃未満のため、等温線はない。  
 2 水深は調査時の測定値である。

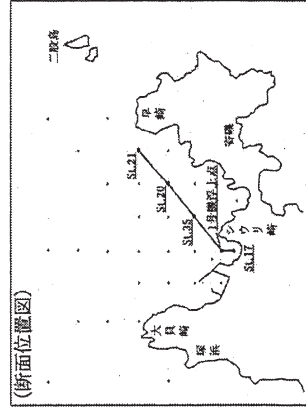


図-3-(5) St.17-St.21ラインの水温鉛直分布(1号機浮上点含む)



調査年月日：平成30年2月16日  
 測定者：東北電力  
 観測層：海面下0.5m層

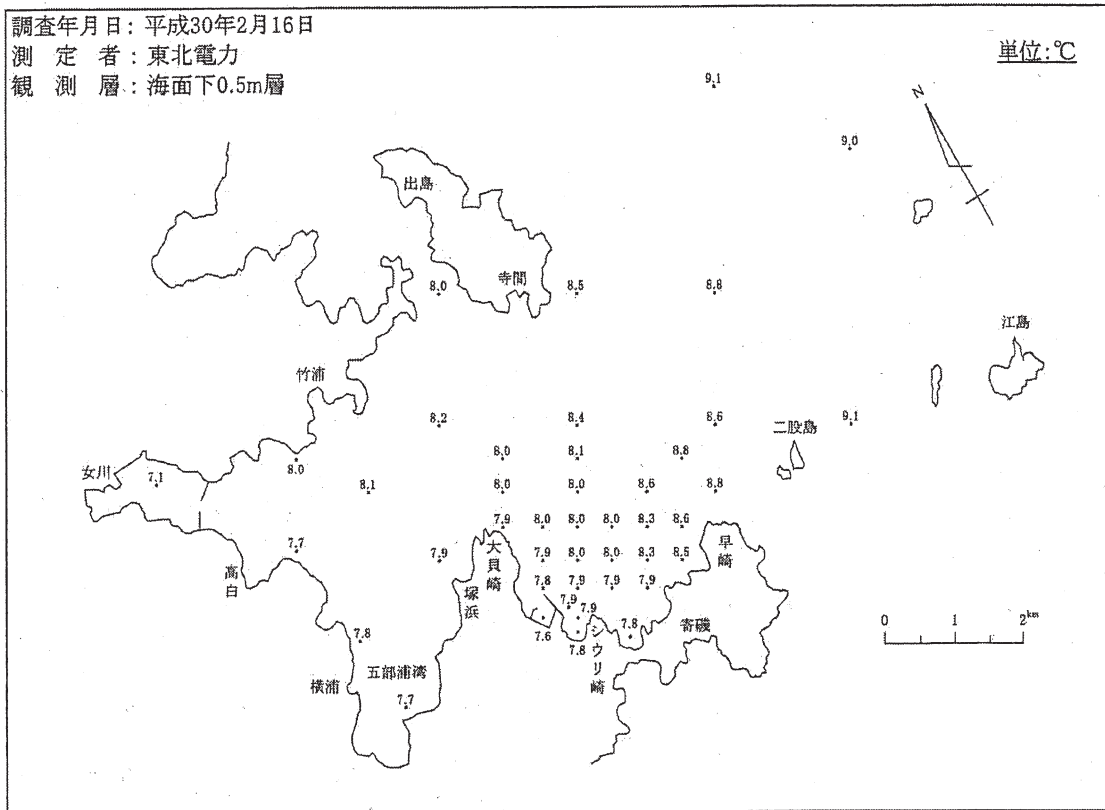
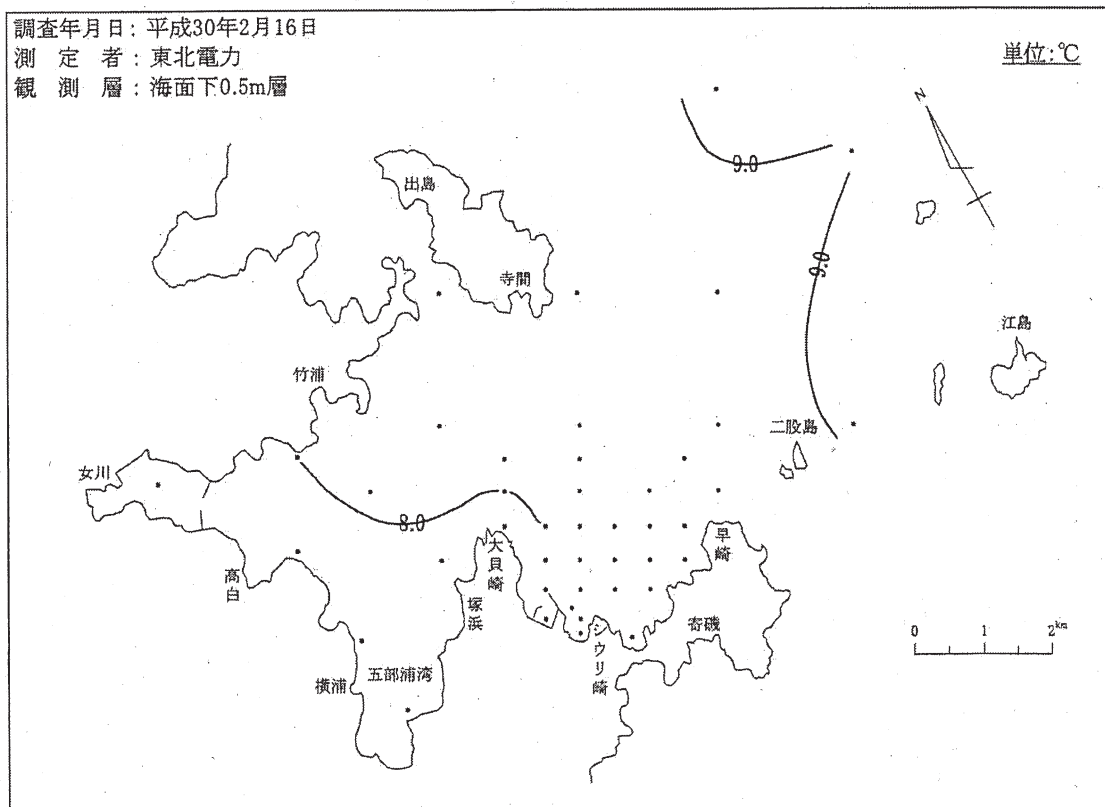


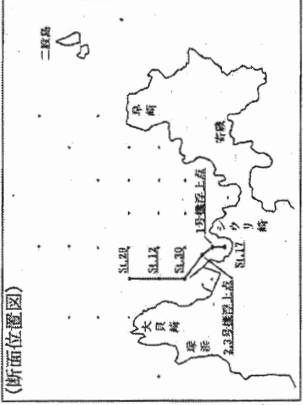
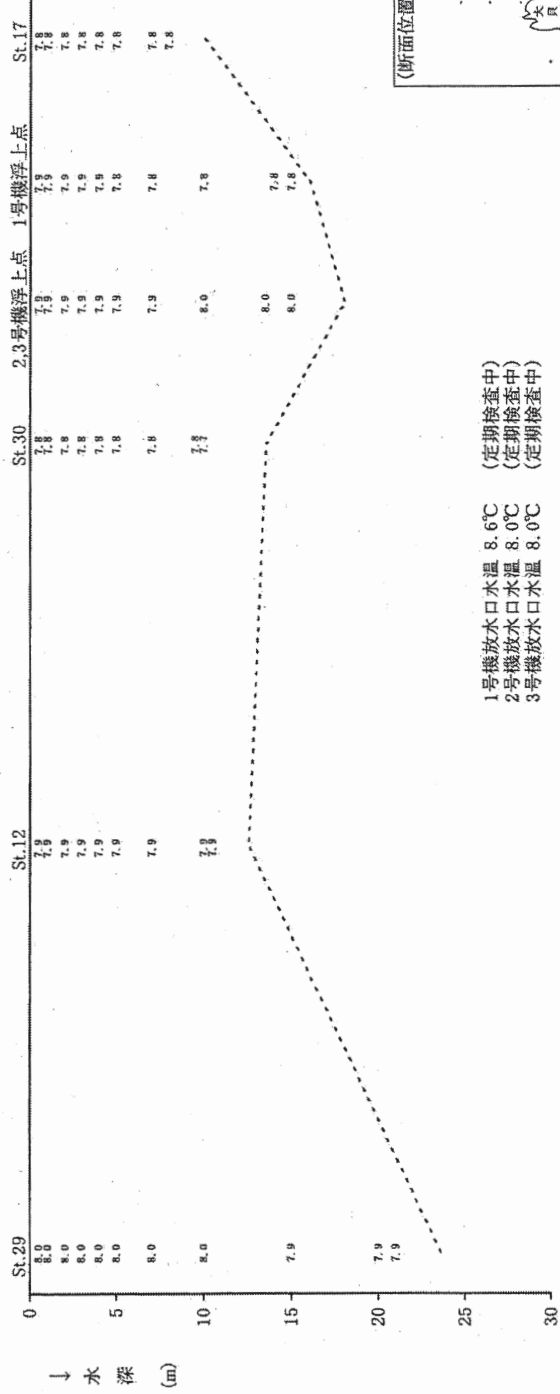
図-4-(1) 水温水平分布

調査年月日：平成30年2月16日  
 測定者：東北電力  
 観測層：海面下0.5m層



注1 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 2 8°Cの等温線は、確定できる範囲で引いた。

図-4-(2) 等温線



1号機放水口水温 8.6℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温差が1℃未満のため、等温線はない。  
 2 水深は調査時の測定値である。

図-5-(1) St.17-St.29ラインの水温鉛直分布(1・2,3号機浮上点含む)

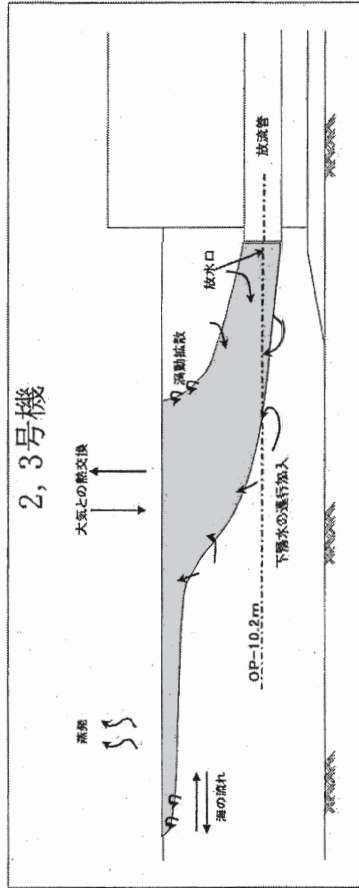
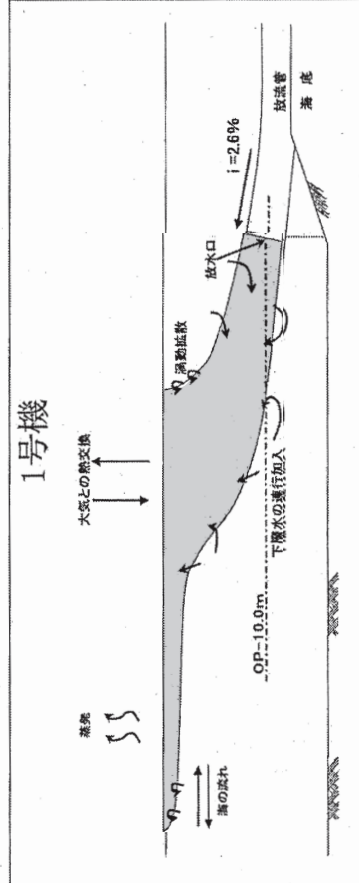
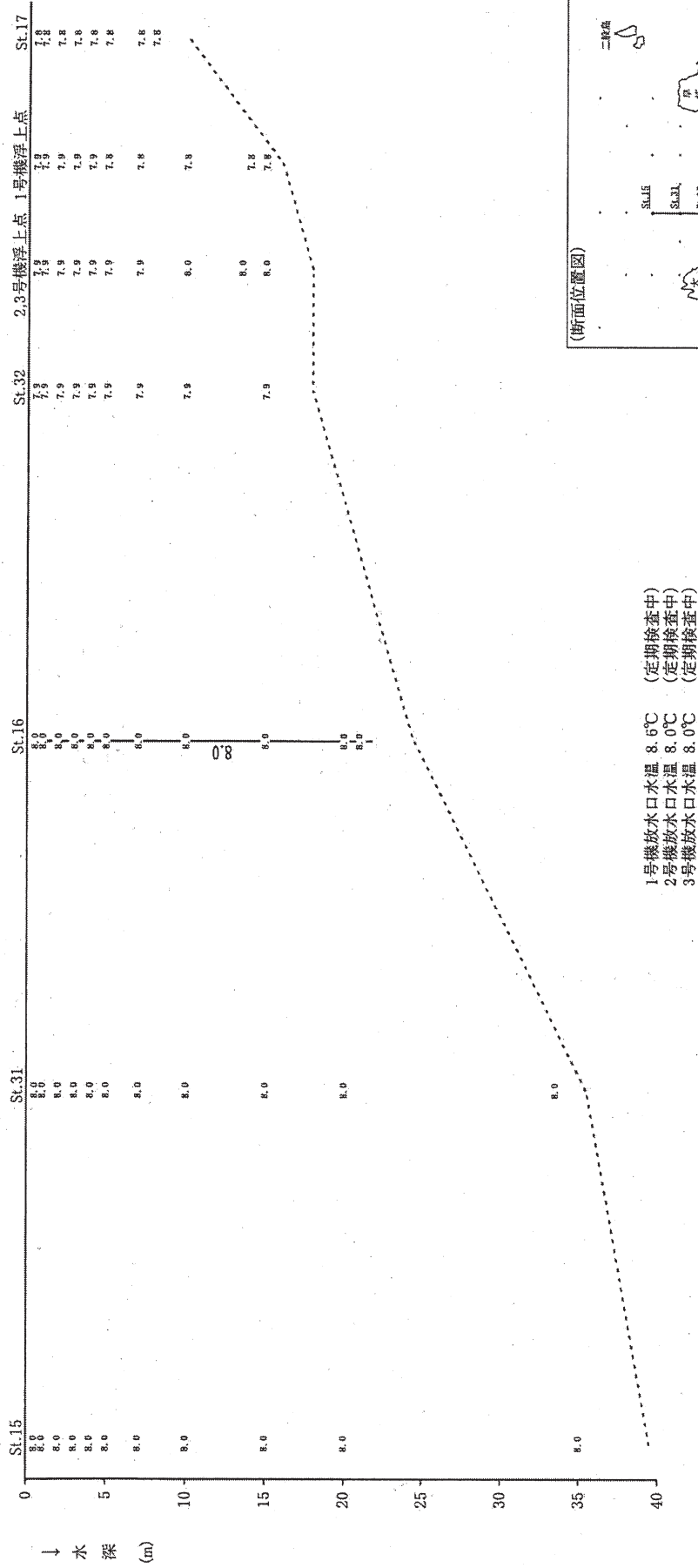


図-5-(2) 水中放流方式における温排水の拡散概念

調査年月日：平成30年2月16日 測定者：東北電力

単位：℃



- 1号機放水口水温 8.6℃ (定期検査中)
- 2号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)
- 3号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温分布に基づき、参考までに等温線 (1℃毎) を引いた。  
 2 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 3 水深は調査時の測定値である。

(断面位置図)

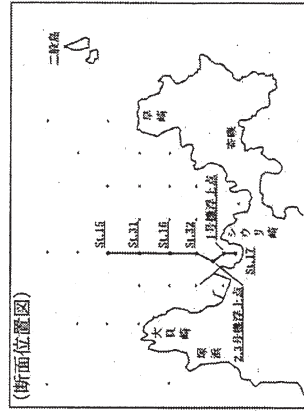
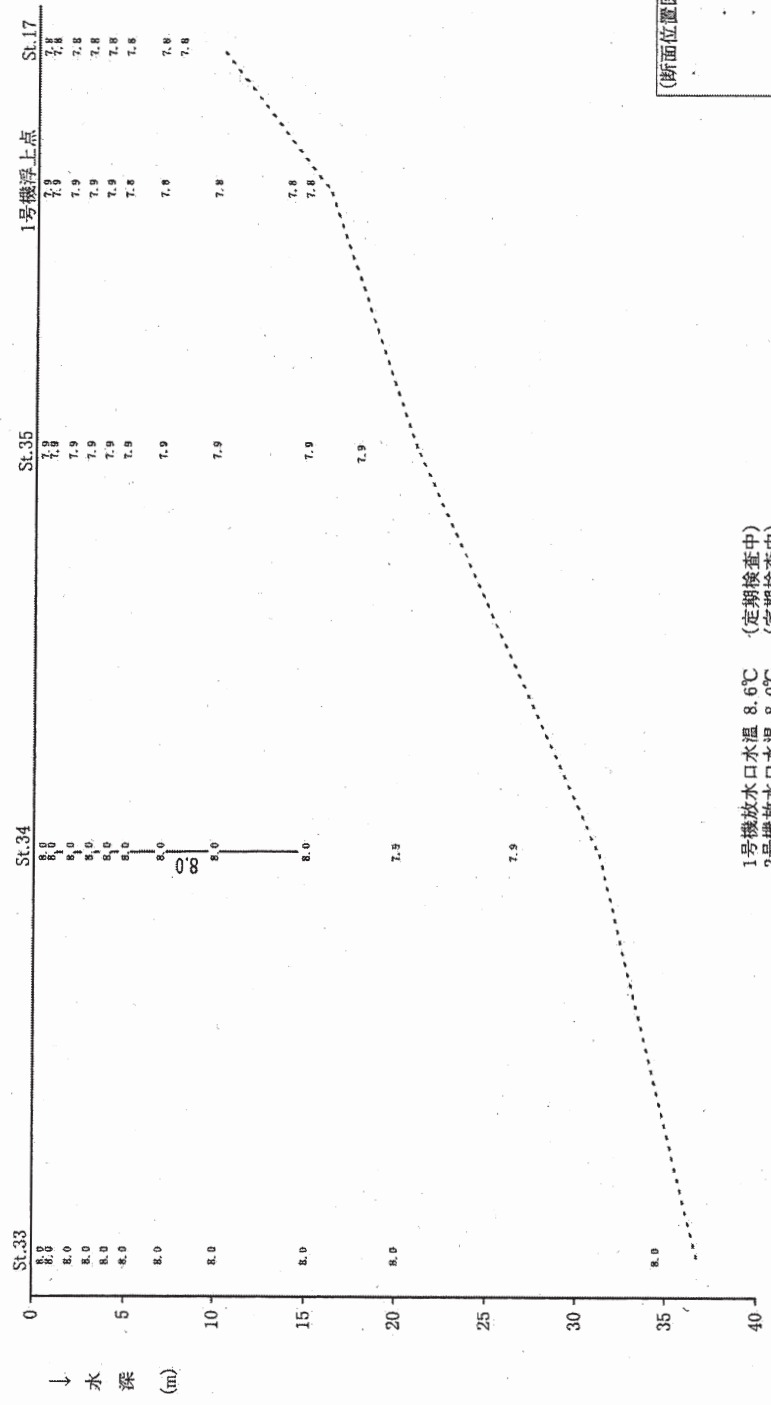


図-5-(3) St.17-St.15ラインの水温鉛直分布(1・2,3号機浮上点含む)



調査年月日：平成30年2月16日 測定者：東北電力

単位：℃



1号機放水口水温 8.6℃ (定期検査中)  
 2号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)  
 3号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温分布に基づき、参考までに等温線 (1℃毎) を引いた。  
 2 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 3 水深は調査時の測定値である。  
 4 8℃の等温線は、確定できる範囲で引いた。

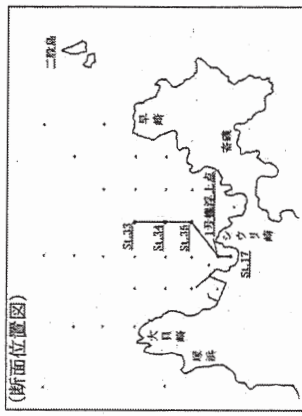
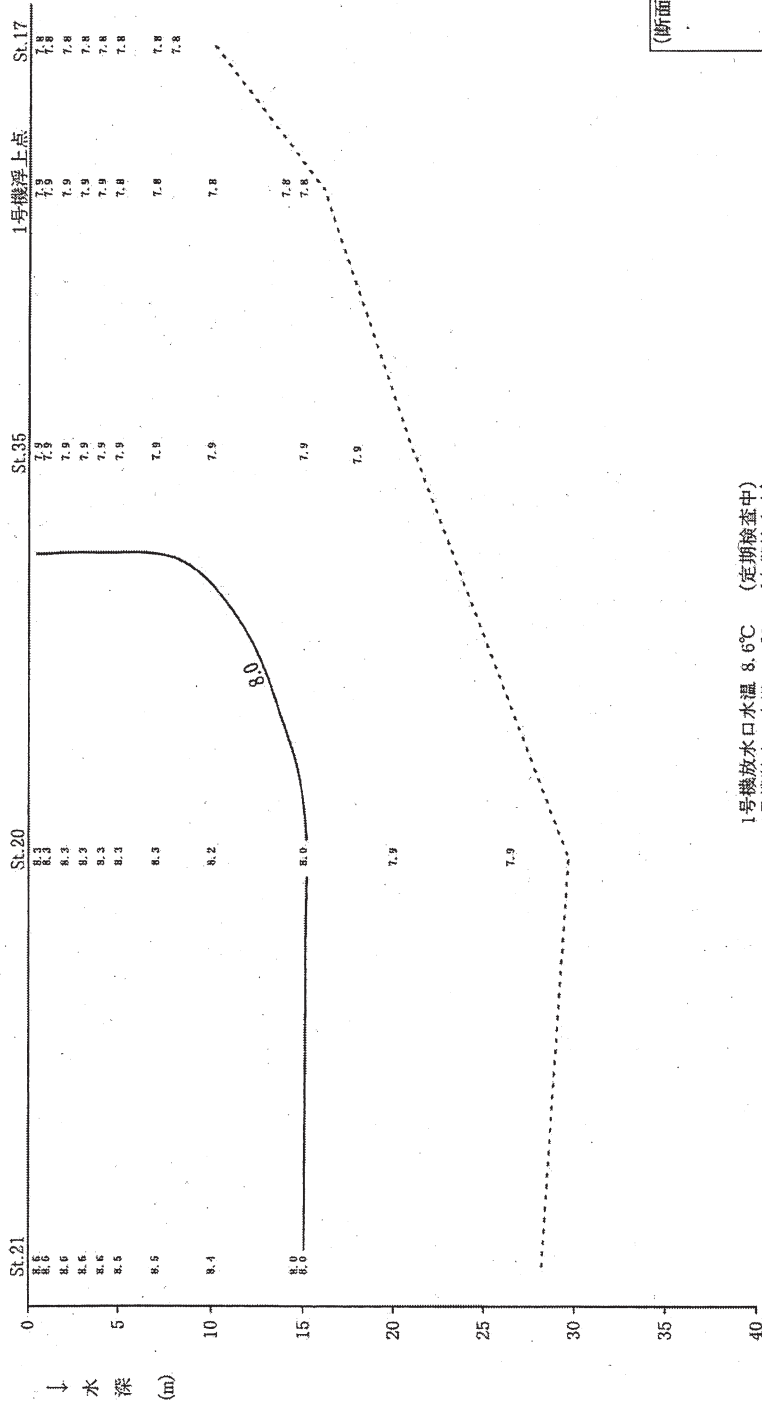


図-5-(4) St.17-St.33ラインの水温鉛直分布 (1号機浮上点含む)

調査年月日：平成30年2月16日 測定者：東北電力

単位：℃



- 1号機放水口水温 8.6℃ (定期検査中)
- 2号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)
- 3号機放水口水温 8.0℃ (定期検査中)

注1 調査結果の水温分布に基づき、参考までに等温線 (1℃毎) を引いた。  
 2 等温線は、水温分布の一例を示す。  
 3 水深は調査時の測定値である。

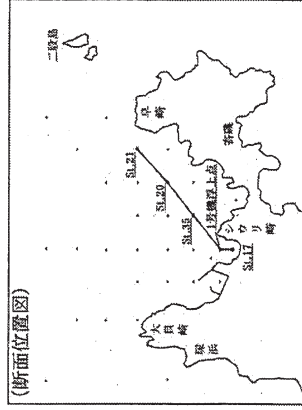


図-5-(5) St.17-St.21ラインの水温鉛直分布(1号機浮上点含む)

表-3 浮上点他の水温鉛直分布と取水口前面水温との較差

単位:℃

調査年月日: 平成30年1月12日

測定者: 宮城県

1号機 2.3号機 取水口 1号機 2.3号機  
浮上点 浮上点 前面 較差 較差

水深:m	1号機 浮上点		2.3号機 浮上点		1号機 取水口 前面		2.3号機 取水口 前面	
	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
0.5 m	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
1	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
2	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
3	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
4	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
5	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
7	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	9.8	9.8
10	10.2	10.3	9.9	0.3	0.4	9.9	9.9	9.9
15	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
20	10.0	10.0	9.9	9.9	10.0	10.0	10.0	10.0
海底上2m (水深:m)	(15.0)	(18.0)	(10.5)					

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	0.0	-0.2
	2.5	4.0

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	0.0	2.0
	0.0	2.0

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	-0.3	1.5
	-0.3	1.5

調査年月日: 平成30年2月16日

測定者: 東北電力

1号機 2.3号機 取水口 1号機 2.3号機  
浮上点 浮上点 前面 較差 較差

水深:m	1号機 浮上点		2.3号機 浮上点		1号機 取水口 前面		2.3号機 取水口 前面	
	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
0.5 m	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
1	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
2	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
3	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
4	7.9	7.9	7.9	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6
5	7.8	7.9	7.7	0.1	0.2	7.8	7.7	0.2
7	7.8	7.9	7.7	0.1	0.2	7.8	7.7	0.2
10	7.8	8.0	7.7	0.1	0.2	7.8	7.7	0.2
15	7.8	8.0	7.7	0.1	0.2	7.8	7.7	0.2
20	7.8	8.0	7.7	0.1	0.2	7.8	7.7	0.2
海底上2m (水深:m)	(16.0)	(15.5)	(9.5)					

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	0.0	0.0
	2.8	2.8

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	-0.3	2.0
	-0.3	2.0

過去同期の水温較差範囲 (S60.7~H28年度)	-0.2	2.1
	-0.2	2.1

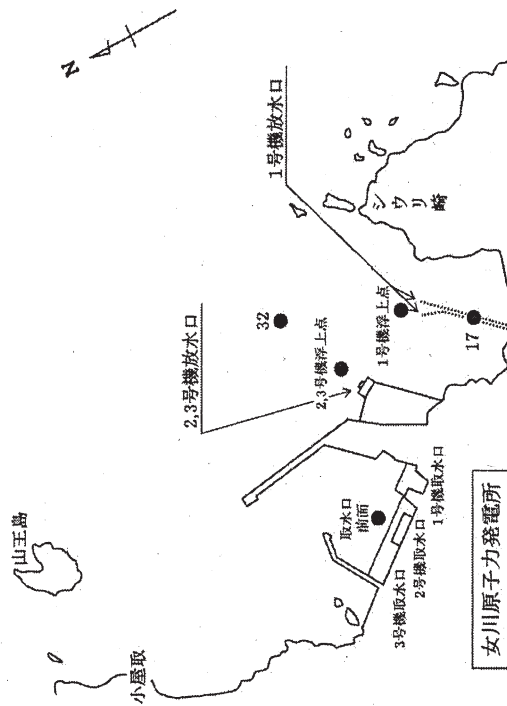


図-6 浮上点他と取水口位置

注1 「/」は海底に達したため測定不能箇所および較差が算出できない箇所を示す。  
 注2 営業運転開始年月: 1号機 S59.6, 2号機 H7.7, 3号機 H14.1

表一4 塩分鉛直分布(干潮時)

調査年月日 : 平成30年1月12日

測定者 : 宮城県

St. m	調査										海域										取水口 前面																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40				
0.5	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.6	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0			
1	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.6	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0		
2	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.7	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0	
3	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.7	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0
4	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.7	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0
5	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.7	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.0
7	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.1
10	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	34.0	34.0	34.1	34.1
15	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	34.0	33.9	33.9	33.8	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.1	34.1		
20	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	
海底上2m (水深:m)	33.8	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.1	33.9	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.0	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.0	34.0	
	(18.0)	(23.5)	(15.0)	(35.5)	(21.0)	(21.5)	(31.0)	(39.0)	(17.0)	(36.0)	(17.0)	(24.0)	(41.5)	(39.5)	(24.5)	(10.5)	(10.0)	(10.5)	(29.5)	(28.0)	(28.0)	(99.5)	(43.0)	(40.0)	(34.0)	(65.5)	(25.5)	(23.5)	(18.5)	(34.0)	(18.0)	(18.0)	(31.0)	(21.0)	(32.0)	(17.0)	(40.0)	(41.5)	(38.5)	(15.0)	(18.0)	(10.5)			

 範囲内の最大値  
 範囲内の最小値

注 1 St. はステーションの意で測定地点を示す。  
 2 「/」は海底に達したため測定不能箇所を示す。  
 3 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による)であり, 電気伝導度比により定義されるため単位は異なる。海水1kg中に含まれる塩分(g)と同程度の値を示す。



表一5 塩分鉛直分布(干潮時)

調査年月日：平成30年2月16日  
測定者：東北電力

St. m	調査										海										城										取水口 前面												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
0.5	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.8	
1	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
2	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
3	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
4	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
5	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
7	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
10	33.8	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
15	33.9	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
20	33.9	34.0	33.9	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
海底上2m	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.9	33.9
(水深:m)	(16.5)	(26.5)	(7.5)	(36.0)	(20.0)	(15.5)	(28.0)	(36.0)	(16.5)	(38.0)	(14.0)	(12.5)	(25.0)	(41.5)	(37.0)	(23.0)	(10.0)	(9.5)	(28.0)	(16.5)	(21.0)	(38.5)	(43.0)	(40.0)	(33.0)	(64.0)	(22.5)	(23.0)	(11.5)	(35.5)	(17.0)	(36.5)	(28.5)	(20.0)	(33.5)	(17.5)	(39.5)	(40.5)	(34.0)	(15.5)	(9.5)		

注 1 St. はステーションの意で測定地点を示す。  
 2 「/」は海底に達したため測定不能箇所を示す。  
 3 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による)であり、電気伝導度比により定義されるため単位は異なる。海水1kg中に含まれる塩分(g)と同程度の値を示す。

■ 範囲内の最大値  
 □ 範囲内の最小値

(2) 水温調査 (モニタリング)

水温調査 (モニタリング) においては, 1~5, 11を女川湾沿岸, 6, 8~10, 12~15を前面海域, 7を湾中央部として記述することとする。

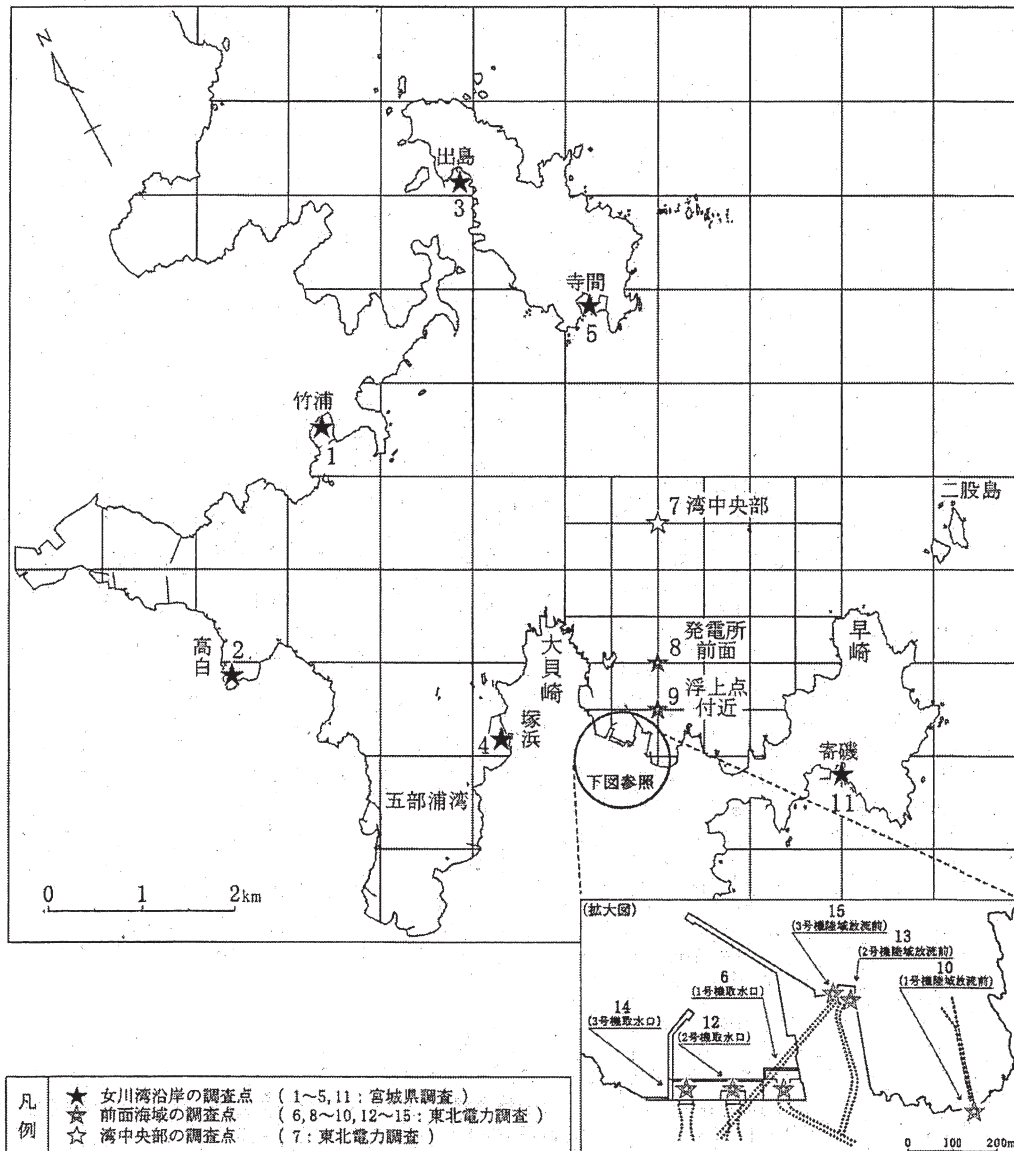


図-7 水温調査 (モニタリング) 位置

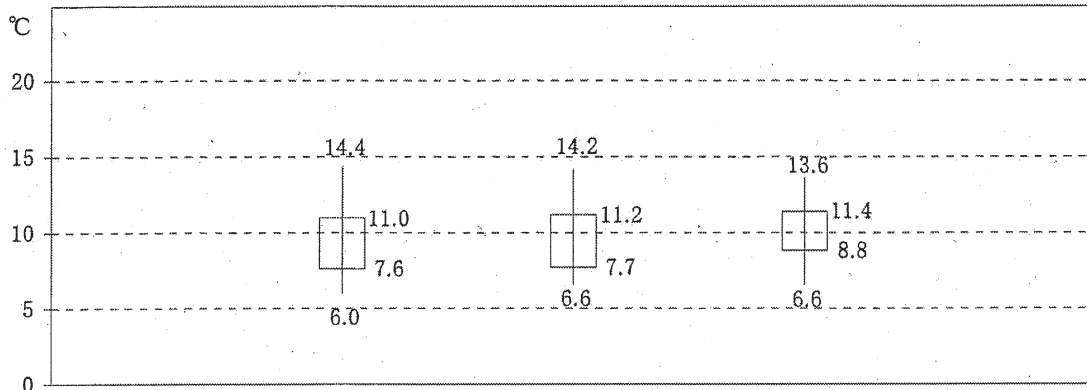
当該四半期の水温調査 (モニタリング) で得られた結果からは, 温排水の影響と考えられる異常な値は観測されなかった。なお, 調査結果は以下に示す通りである。

女川湾沿岸 (1~5, 11) の水温と前面海域 (6, 8, 9, 12, 14) の水温の調査結果は図-8, 10および表-6に示す通りであり, 前面海域の水温は, 女川湾沿岸の水温と比較して, 全体としてはほぼ同範囲で推移していた。浮上点付近と前面海域各調査点との水温較差の出現日数については, 図-9に示す通りであり, 特に偏りはなかった。

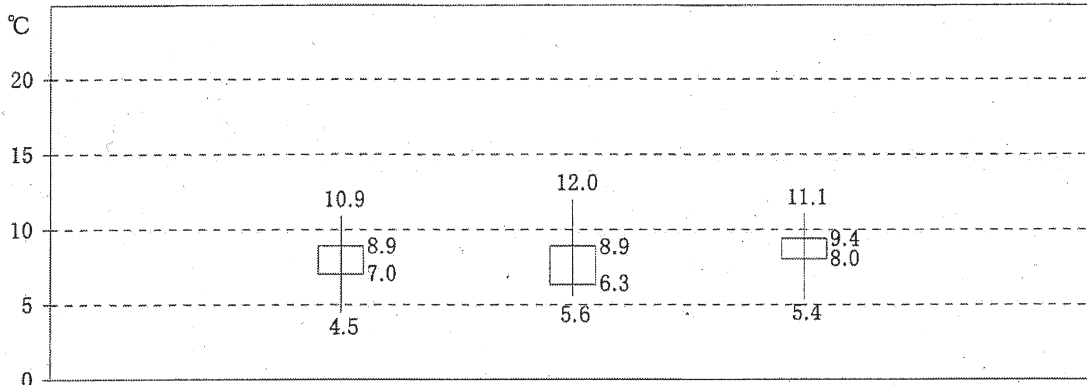
過去同期の水温との比較では, 3月の女川湾沿岸で0.1℃, 湾中央部で1.2℃, 過去の測定範囲を上回っていたが, これらは沖合から流入した暖水と3月下旬の気温上昇の影響によるものと考えられた。



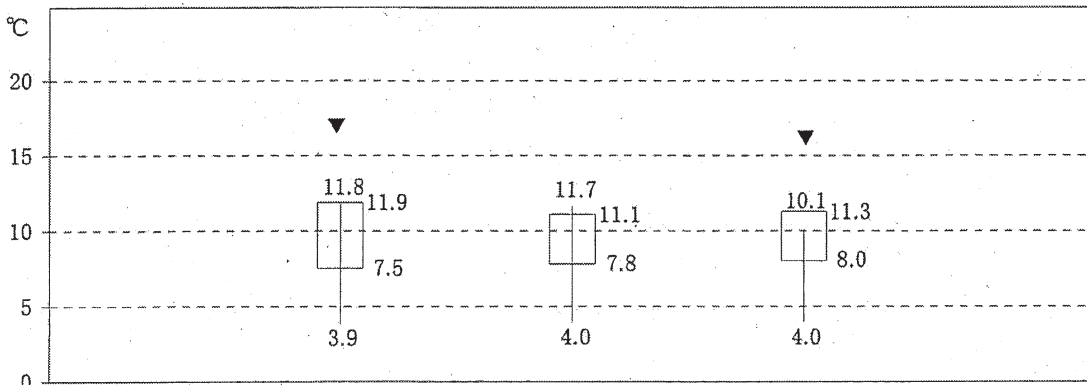
1月



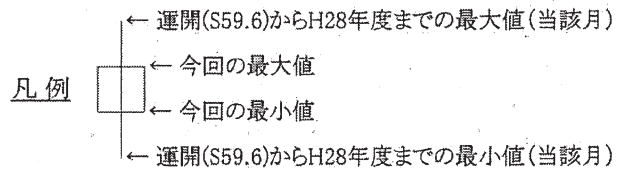
2月



3月



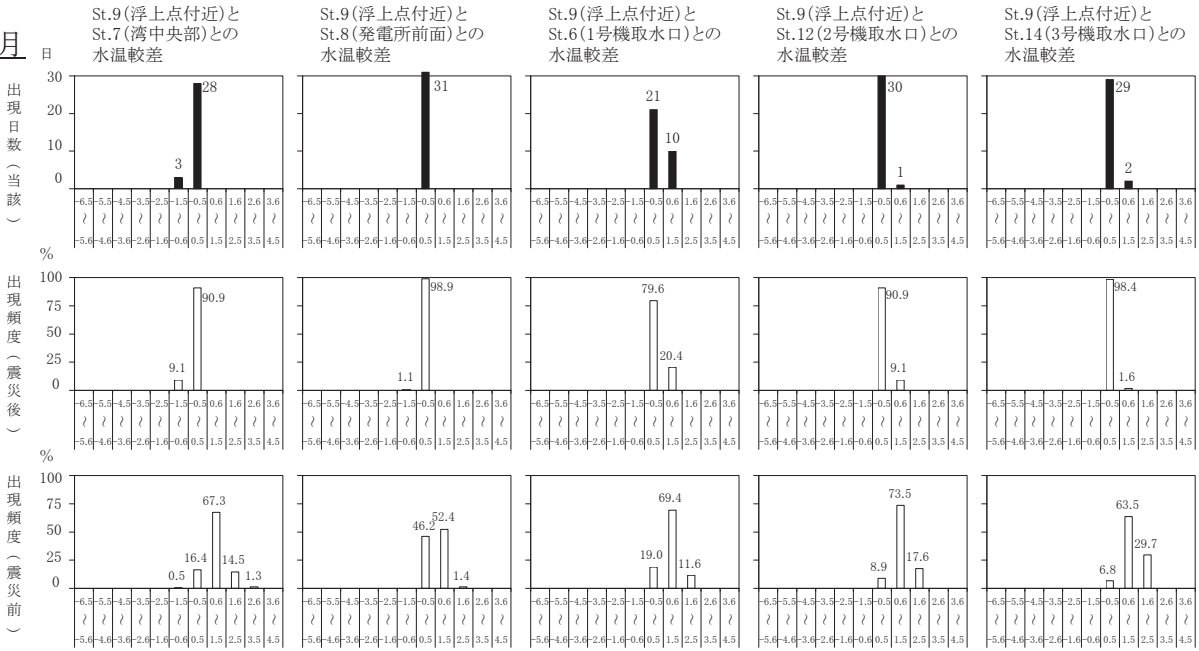
女川湾沿岸 (調査地点) St.1~5・11      前面海域 St.6・8・9・12・14      湾中央部 St.7



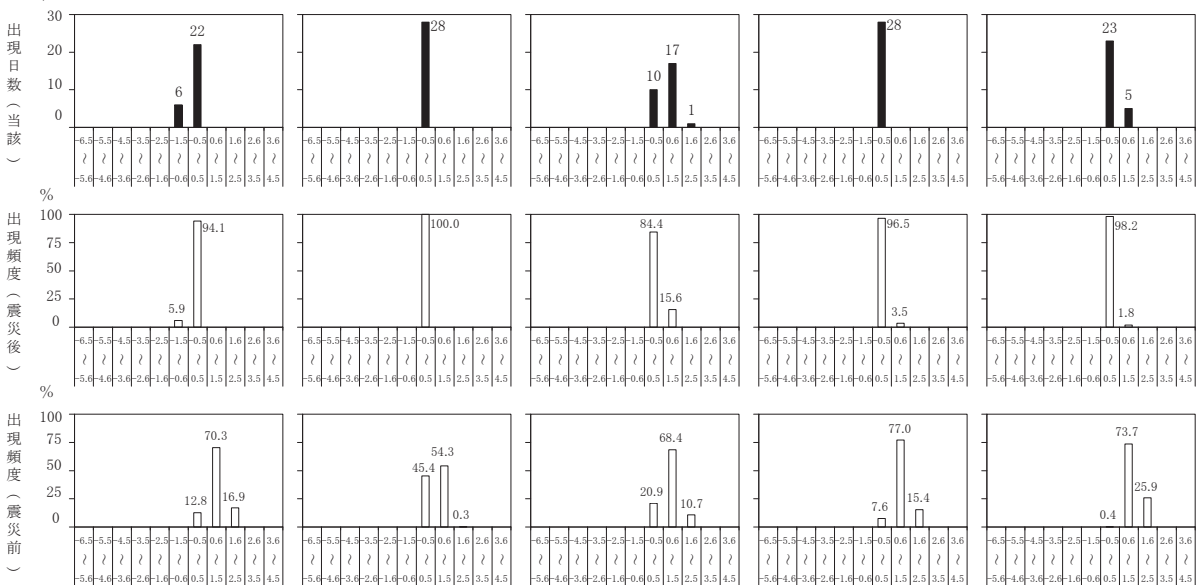
注 測定値が過去の最大/最小値の範囲外のデータについては、▼を付した。

図-8 水温調査(モニタリング)による水温測定範囲

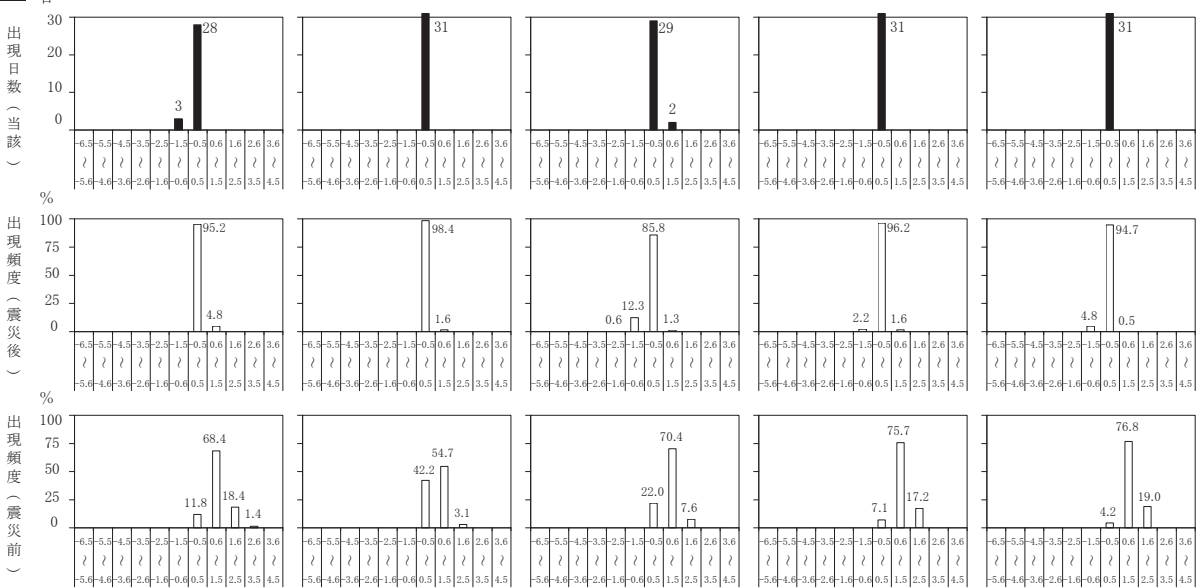
1月



2月



3月



水温較差(°C)

注1 上段の黒色棒グラフは当該月の出現日数を示し、中段および下段の白抜き棒グラフは過去(震災前・後)の出現頻度を示す。  
 2 過去のデータ期間は、震災前(S59.6~H23.3.10)、震災後(H23.3.11~H29.3.31)とした。

図-9 浮上点付近と前面海域各調査点との水温較差の出現日数

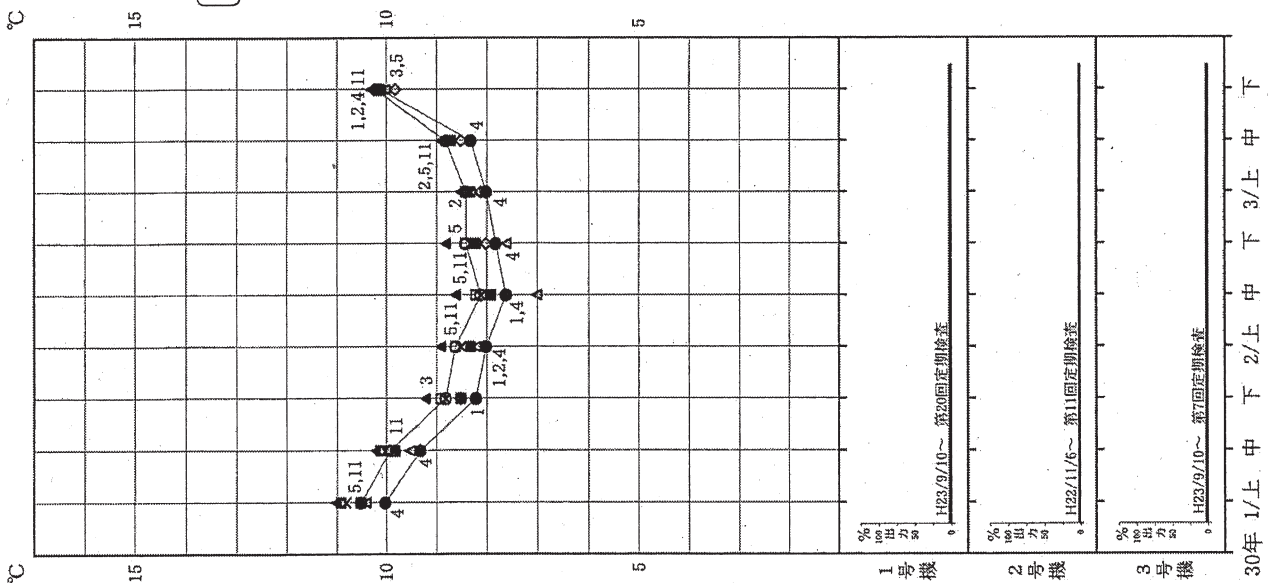
表一6 水温調査(モニタリング)月旬平均水温

1 月	宮城県調査地点				東北電力調査地点									
	最高温度値		最低温度値		St.7 高中 央部	St.8 発電所 前面	St.9 浮上点 付近	St.6 1号機 取水口	St.10 1号機 取水口 放流前	St.12 2号機 取水口	St.13 2号機 取水口 放流前	St.14 3号機 取水口	St.15 3号機 取水口 放流前	
	地点名	—	地点名	—										
1	上旬	寺間(St.5) 常磯(St.11)	10.5	塚浜(St.4)	11.0	10.9	10.8	10.4	11.0	10.5	10.7	10.5	10.8	
2	中旬	常磯(St.11)	9.9	塚浜(St.4)	10.2	10.1	10.0	9.5	10.3	9.8	9.9	9.8	10.0	
3	下旬	出島(St.3)	8.8	竹浦(St.1)	9.2	8.9	8.8	8.5	9.4	8.5	8.7	8.5	8.9	
1	上旬	寺間(St.5) 常磯(St.11)	8.6	竹浦(St.1) 高白(St.2) 塚浜(St.4)	8.9	8.6	8.5	8.2	9.1	8.3	8.5	8.0	8.5	
2	中旬	寺間(St.5) 常磯(St.11)	8.1	竹浦(St.1) 塚浜(St.4)	8.6	8.2	8.1	7.0	8.6	7.9	8.0	7.6	8.1	
3	下旬	寺間(St.5)	8.4	塚浜(St.4)	8.8	8.4	8.3	7.6	8.4	8.2	8.4	8.0	8.5	
1	上旬	高白(St.2)	8.4	塚浜(St.4)	8.5	8.3	8.3	8.4	9.0	8.4	8.5	8.1	8.6	
2	中旬	高白(St.2) 寺間(St.5) 常磯(St.11)	8.8	塚浜(St.4)	8.9	8.7	8.7	8.8	9.2	8.7	8.9	8.5	8.9	
3	下旬	竹浦(St.1) 高白(St.2) 塚浜(St.4) 寺間(St.5)	10.2	出島(St.3) 寺間(St.5)	10.3	10.1	10.1	10.0	10.2	10.1	10.1	9.8	10.1	

単位:℃

宮城県調査地点  
(St.1~5,11)  
○—○ 高温度値  
●—● 低温度値  
〔注〕 図中の数字は高温度値、低温度値を  
観測したSt番号を示す。

東北電力調査地点  
▲ St.7 (濟中央部)  
□ St.8 (発電所前面)  
× St.9 (浮上点付近)  
■ St.12 (2号機取水口)  
◇ St.14 (3号機取水口)



図一10 水温調査(モニタリング)月旬平均水温

# 資料

表一7 調査方法

測定者:宮城県

調査事項	月日	地点数	観測層	方法	項目
1.水温・塩分調査	1.12	43	0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 15, 20, 海底上2m	電気水温, 塩分計を用いて測定	水温, 塩分
2.流動調査	1.12 ～ 26	1	2, 15m	電磁自記式流向流速計により, 15昼夜連続測定	流向, 流速
3.海象調査	1.12	1	—	目視による測定	波高, 波向
4.水質調査	1.12	16	0.5, 5, 10, 20 海底上1m	電気水温, 塩分計を用いて測定 バンドーン型採水器を用いて採水し, 測定, 分析 スミス・マンキントイヤ型採泥器を 用いて採泥し, 測定, 分析	水温, 塩分, SS, 透明度, pH, DO, COD, PO <sub>4</sub> -P, NH <sub>4</sub> -N, NO <sub>2</sub> -N, NO <sub>3</sub> -N 泥温, 水分含有率, Eh, IL, T-S, COD, 粒度組成
6.水温調査 (モニタリング)	周年	6	0.5m	簡易記録式水温計による連続測定	水温
1.養殖生物調査	2.7	6	—	現地観察調査 聞き取りによる調査 (養殖生物 … カキ・ワカメ [2～3月], ホヤ [5～6月])	種類, 量, 生育状況など

注 月日欄の「—」は, 今期の実施対象外調査を示す。

表-8 調査方法

測定者:東北電力

調査事項	月日	地点数	観測層	方法	項目
1.水温・塩分調査	2.16	43	0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 15, 20, 海底上2m	電気水温, 塩分計を用いて測定	水温, 塩分
2.流動調査	2.1 ~22	6	2, 海底上2m	電磁自記式流向流速計により, 20昼夜連続測定	流向, 流速
3.海象調査	2.16	1	—	超音波式自記波高計及び陸上からトランスミットにより測定	波高, 波向
4.水質調査	2.14	18	0.5, 5, 10, 20 海底上1mまたは0.5m	ハンドーン型採水器を用いて採水し, 測定, 分析	水温, 塩分, SS, 透明度, pH, DO, COD, n-へキ, PO <sub>4</sub> -P, T-P, NH <sub>4</sub> -N, NO <sub>2</sub> -N, NO <sub>3</sub> -N, Org-N, T-N, クロロフィルa, フェオフィチン
5.底質調査	2.14	6	0.5m	スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用いて採泥し, 測定, 分析	CN, Cr(VI), Cd, Pb, Zn, Cu, As, T-Fe, T-Mn, T-Cr, T-Hg, R-Hg, Org-P, PCB, 大腸菌群数
6.気象観測	2.13	18	—	発電所敷地内露場にて「地上気象観測指針」に基づき観測	泥温, 水分含有率, Eh, IL, T-S, COD, Org-C, Org-N, 粒度組成
7.水温調査 (モニタリング)	2.13	6	—	水温計を搭載した観測ブイならびにフローティング装置による連続モニタリング	CN, Cd, Pb, Zn, Cu, Cr(VI), As, T-Fe, T-Mn, T-Cr, T-Hg, R-Hg, Org-P, PCB, HCH, n-へキ, 大腸菌群数
8.気象観測	周年	1	—	発電所敷地内露場にて「地上気象観測指針」に基づき観測	風向, 風速, 気温, 湿度, 降水量など
9.水温調査 (モニタリング)	周年	9	0.5m St.10,13,15については 水路敷上3m	水温計を搭載した観測ブイならびにフローティング装置による連続モニタリング St.10,13,15については固定式水温計による連続モニタリング	水温



表一9 調査方法

測定者:東北電力

調査事項	月日	地点数	観測層	方法	項目
1. プランクトン調査	1.19	4	0~5, 5~10, 10~20, 20~海底上1m	北原式定量ネットNXX13の鉛直曳きにより採集	動物, 植物プランクトンの出現種, 出現量, 沈殿量
			0~5, 5~10, 10~20, 20~海底上1m	同上	同上
	2.14	18	表層, 10m	丸稚ネットGG54の水平曳きにより採集	大型動物プランクトンの出現種, 出現量
			表層, 10m	バンドーン型採水器を用いて採集	動物, 植物プランクトンの出現種, 出現量, 沈殿量
	3.8	4	0~5, 5~10, 10~20, 20~海底上1m	北原式定量ネットNXX13の鉛直曳きにより採集	同上
			表層, 10m	丸稚ネットGG54の水平曳きにより採集	魚卵, 稚仔魚の出現種, 出現量
	1.19	4	表層, 10m	同上	同上
			表層, 10m	同上	同上
	2.14	21	0~海底上1m	丸特ネットGG54の鉛直曳きにより採集	同上
			表層, 10m	丸稚ネットGG54の水平曳きにより採集	同上
3.8	4	表層, 10m	丸稚ネットGG54の水平曳きにより採集	同上	
		表層, 10m	スミス・マッキンキタイプ型採泥器を用いて採集	マクロベントスの出現種, 出現量	
2.13	18	表層, 10m	新野式ドレッジを用いて採集	メガロベントスの出現種, 出現量	
		表層, 10m	ダイバーによる高潮帯から潮下帯までの観察及び方形枠採取	海藻草類, 動物の出現種, 出現量, 生息密度, 現存量	
2.2~20	8	高, 中, 低潮下帯	ダイバーによる高潮帯から潮下帯までの観察及び方形枠採取	海藻草類, 動物の出現種, 出現量, 生息密度, 現存量	
		0~15m	ダイバーによる水深0mから15mまでの観察及び写真撮影	海藻草類, 動物の出現種, 出現量	
2.2~20	8	5, 10, 15m	ダイバーによる水深5m, 10m, 及び15m地点の坪列採集	海藻草類, 動物の出現種, 出現量, 現存量	
		表層, 10m	定置網に捕獲された漁獲物を調査	漁獲物の出現種, 出現量	
2.20~21	5	表層, 10m	底刺網に捕獲された漁獲物を調査	同上	
		表層, 10m	同上	同上	

注 月日欄の「-」は、今期の実施対象外調査を示す。

表-10 水温・塩分調査時の観測条件

調査年月日：平成30年1月12日

7時48分～9時40分

波	高	0.42 m (日平均)		
波	向	NE		
潮	汐(O.P.) <sup>*1</sup> 満潮	0.51 m	(11:20)	
	干潮	0.14 m	(4:46)	
風	速	1.1 m/s		
風	向	W		
気	温	-0.5 °C (日平均)		
湿	度	50 % (日平均)		
取水口温度	1号機	9.5 °C	2号機 9.9 °C	3号機 9.8 °C
陸域放流前温度	1号機	10.7 °C	2号機 10.0 °C	3号機 10.2 °C
放水量 <sup>*2</sup>	1号機	2.0 m <sup>3</sup> /sec.	2号機 3.0 m <sup>3</sup> /sec.	3号機 3.0 m <sup>3</sup> /sec.

※1 潮位の観測基準面は、発電所基準面O.P. = 0.0m(東京湾基準T.P. = -0.74m)である。

※2 定格熱出力一定運転時の放水量は、1号機 39m<sup>3</sup>/sec., 2号機 60m<sup>3</sup>/sec., 3号機 60m<sup>3</sup>/sec. であり、復水器設計水温上昇値は7°Cである。

調査年月日：平成30年2月16日

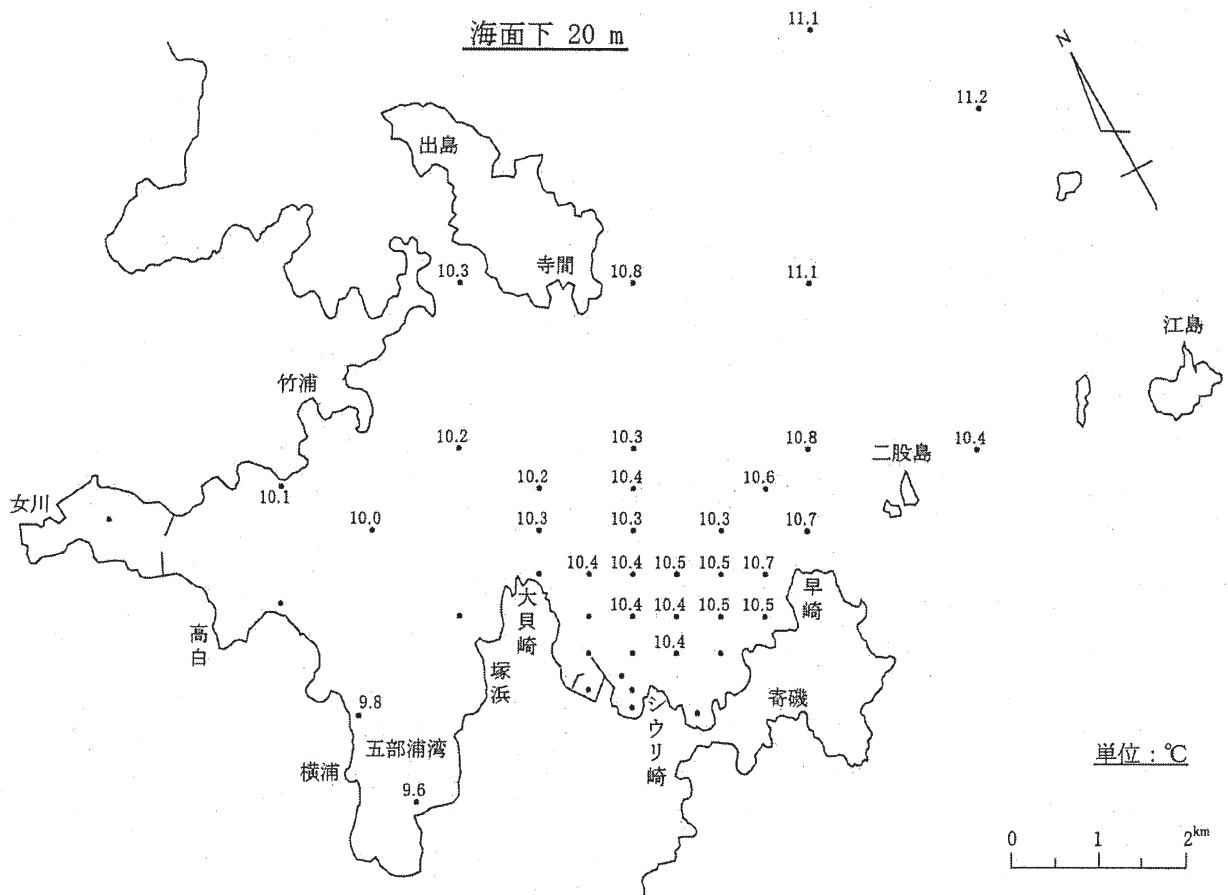
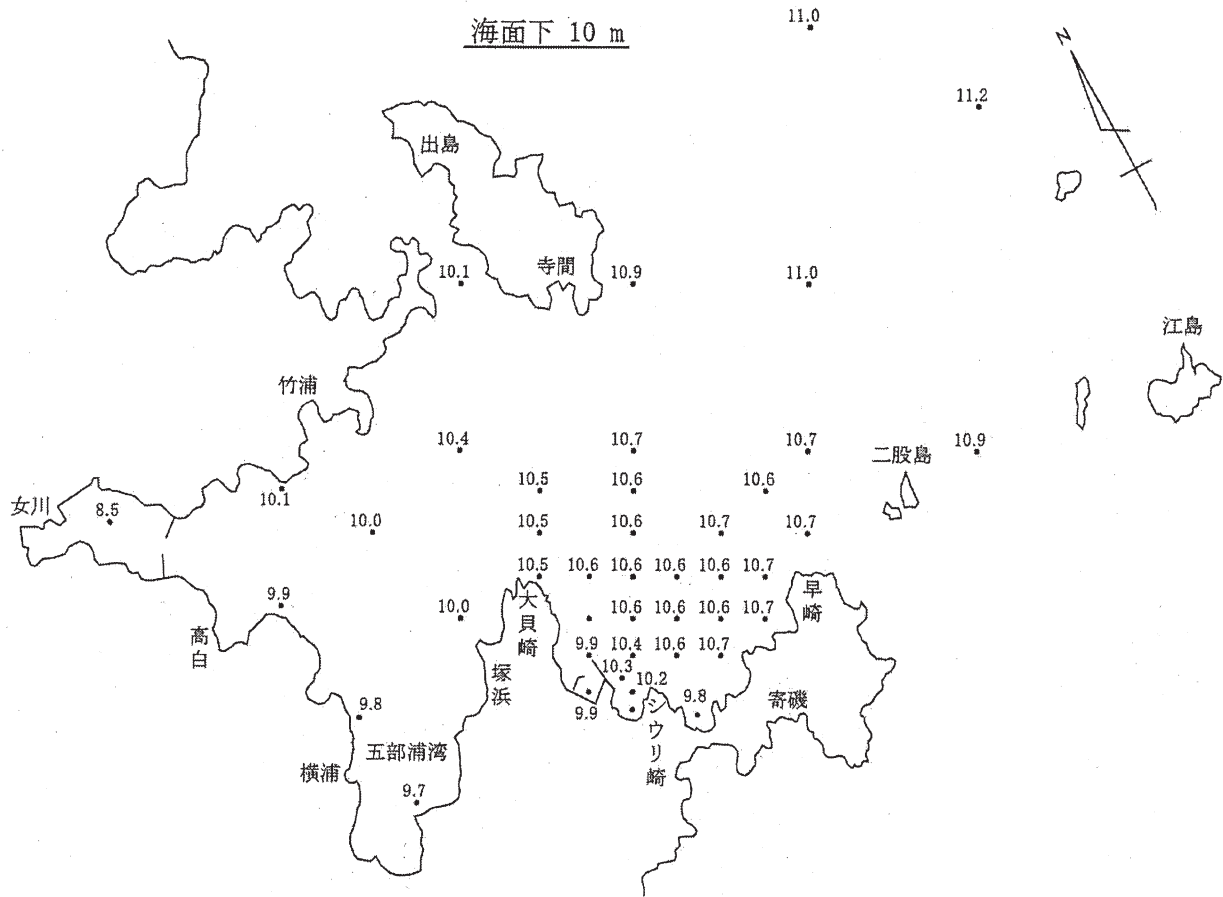
8時30分～9時44分

波	高	0.39 m (日平均)		
波	向	NE		
潮	汐(O.P.) <sup>*1</sup> 満潮	0.67 m	(15:45)	
	干潮	-0.01 m	(9:51)	
風	速	1.5 m/s		
風	向	WSW		
気	温	0.3 °C (日平均)		
湿	度	58 % (日平均)		
取水口温度	1号機	6.8 °C	2号機 7.8 °C	3号機 7.5 °C
陸域放流前温度	1号機	8.6 °C	2号機 8.0 °C	3号機 8.0 °C
放水量 <sup>*2</sup>	1号機	2.0 m <sup>3</sup> /sec.	2号機 3.0 m <sup>3</sup> /sec.	3号機 3.0 m <sup>3</sup> /sec.

※1 潮位の観測基準面は、発電所基準面O.P. = 0.0m(東京湾基準T.P. = -0.74m)である。

※2 定格熱出力一定運転時の放水量は、1号機 39m<sup>3</sup>/sec., 2号機 60m<sup>3</sup>/sec., 3号機 60m<sup>3</sup>/sec. であり、復水器設計水温上昇値は7°Cである。





調査年月日: 平成30年 1月12日 (干潮時) 測定者: 宮城県

図-11-(2) 水温水平分布

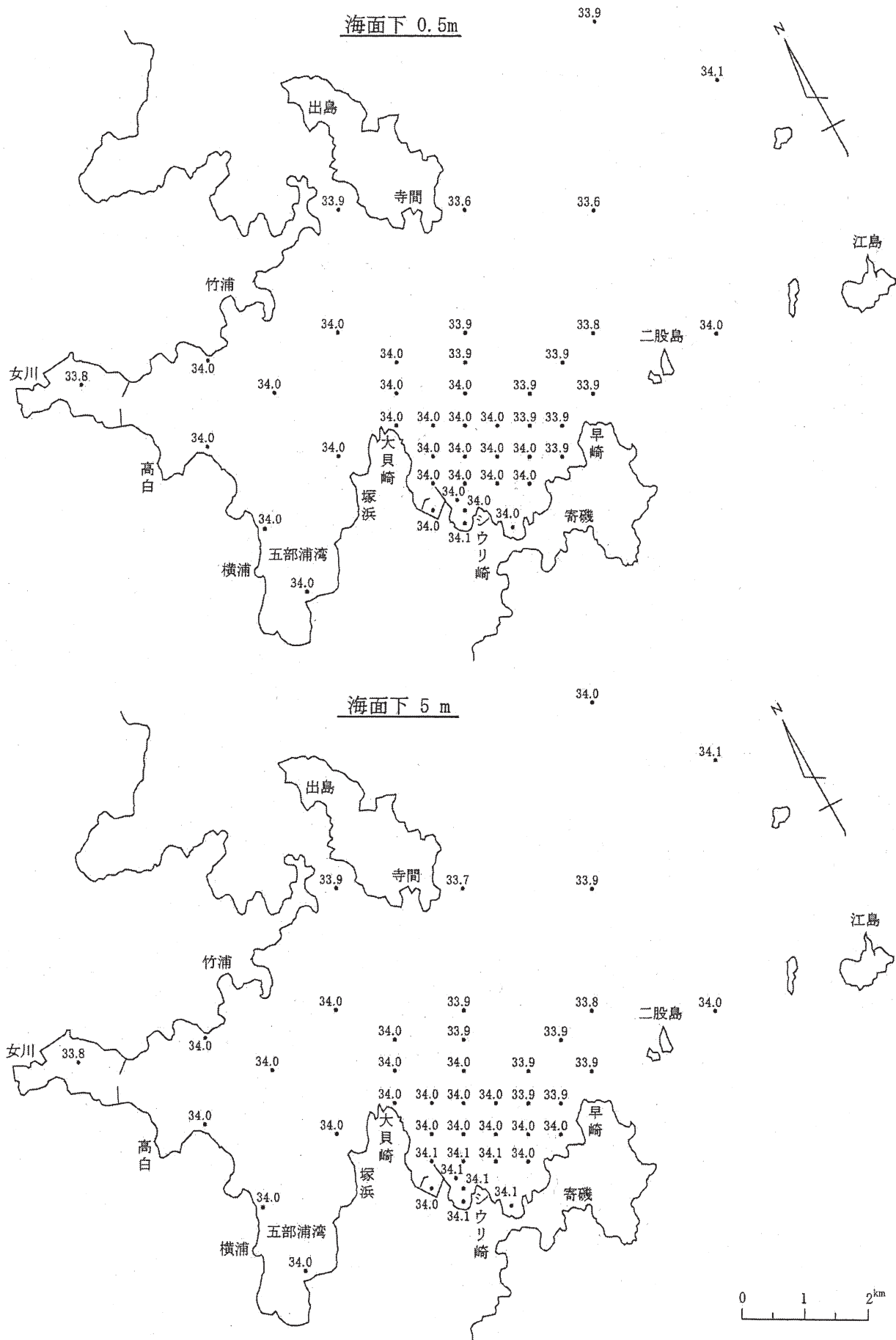


調査年月日：平成30年2月16日（干潮時） 測定者：東北電力

図-12-(1) 水温水平分布



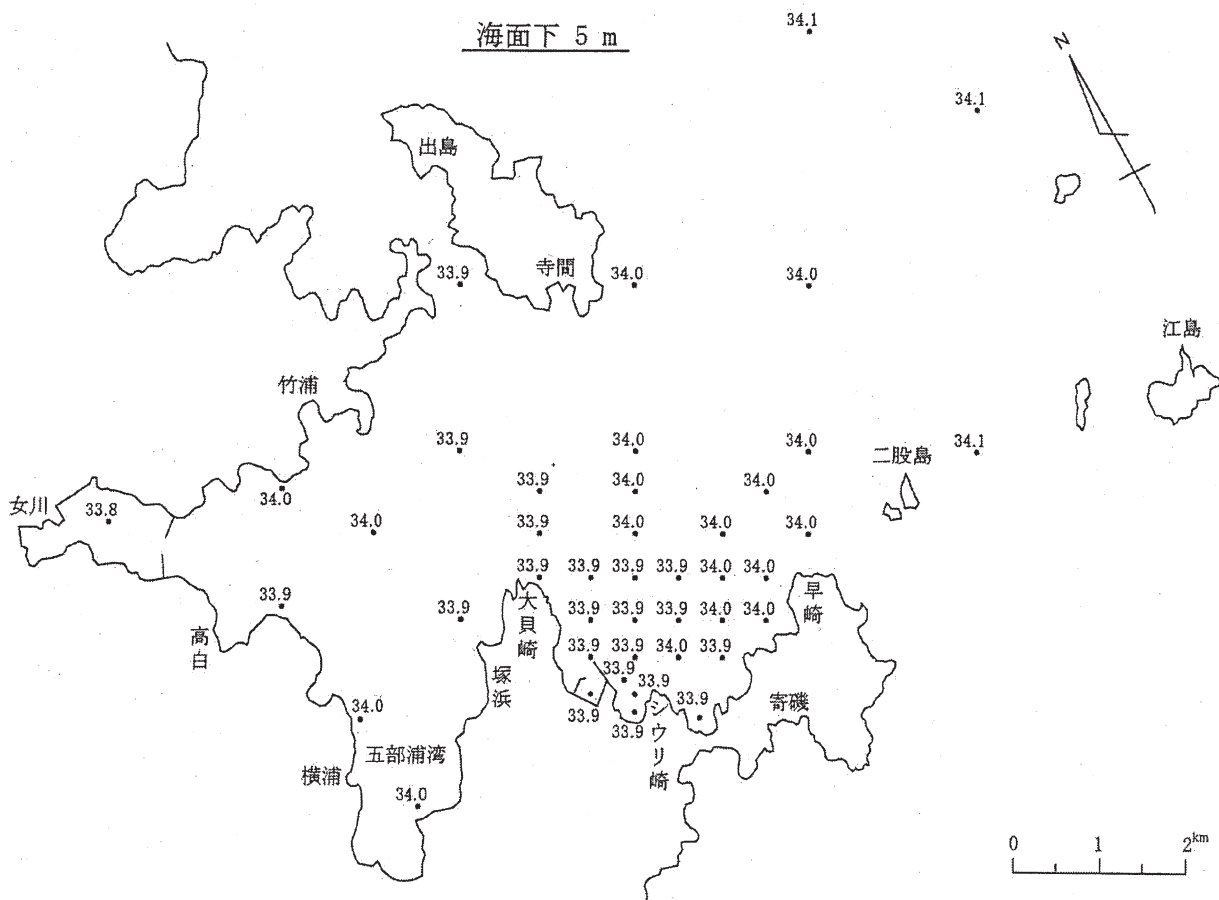
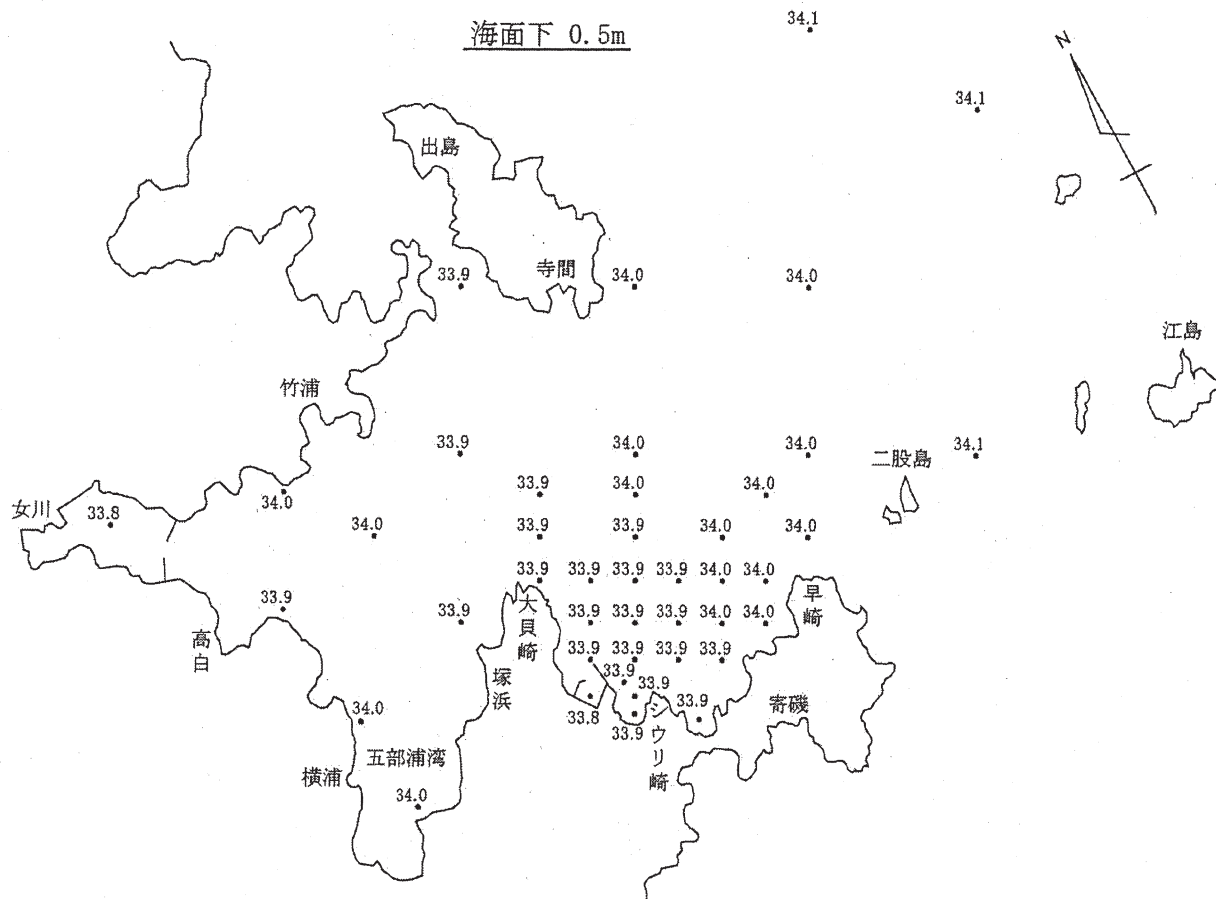




調査年月日：平成30年1月12日（干潮時） 測定者：宮城県

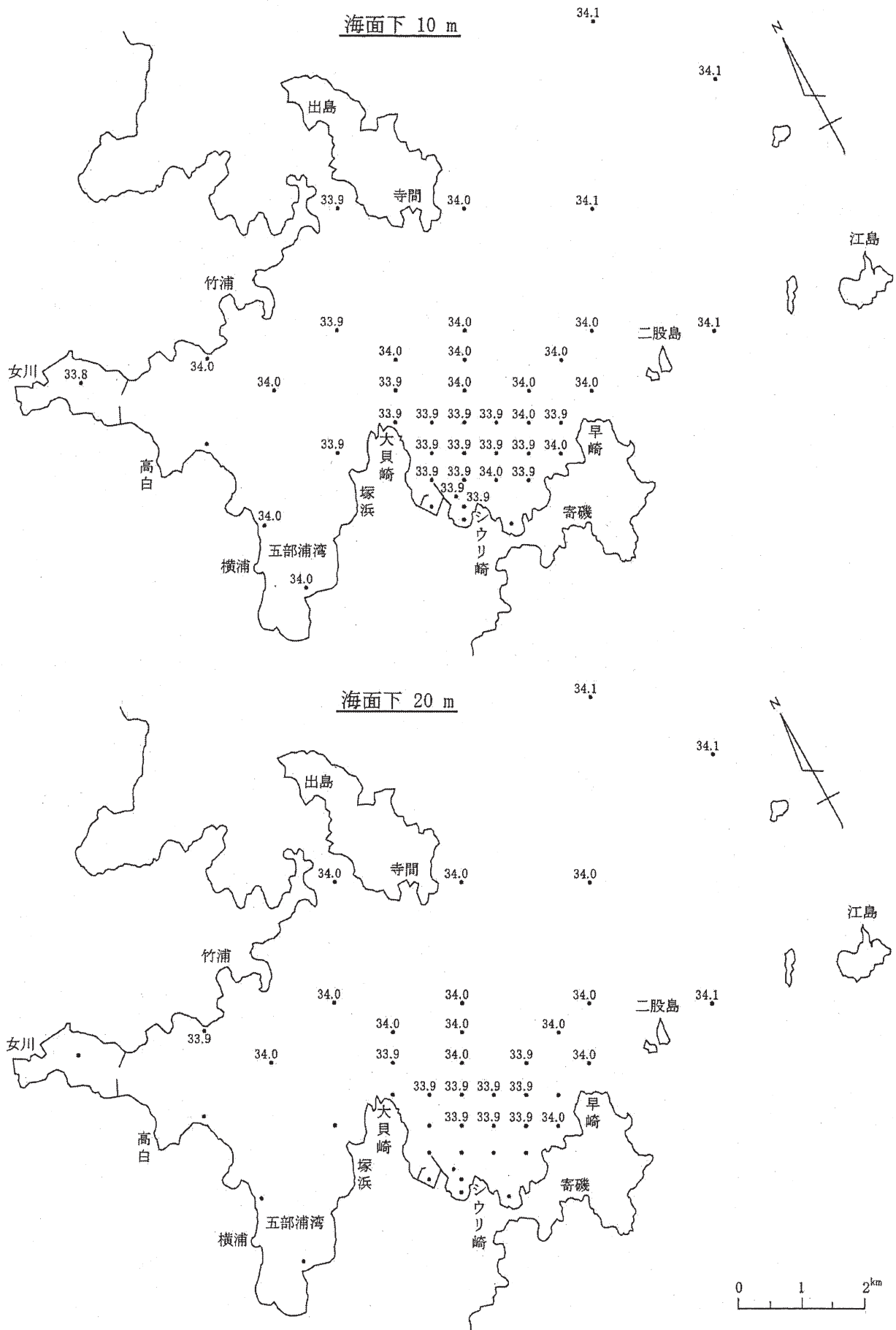
図-13-(1) 塩分水平分布





調査年月日：平成30年 2月16日（干潮時） 測定者：東北電力

図-14-(1) 塩分水平分布



調査年月日：平成30年2月16日（干潮時） 測定者：東北電力

図-14-(2) 塩分水平分布



